

「消費者の部屋」特別展示

統計データでみる沖縄の農林水産業

～10月18日は「統計の日」～

主催：沖縄総合事務局 農林水産部

1 沖縄県の概況

■面積、人口、総生産等

【面積】

総土地面積	228,254ha
耕地面積	37,000ha
田耕地面積	817ha
林野面積	115,602ha

【人口・就業者数】

総人口	1,468,410人
男性人口	722,932人
女性人口	745,478人

総就業者数	589,634人
第1次産業就業者数	26,593人
第2次産業就業者数	81,508人
第3次産業就業者数	433,334人

(総就業者数は分類不能産業を含む。)

【世帯数】

総世帯数	612,749世帯
総農家数	14,747戸
林家数	229戸
漁業経営体数	2,733経営体

(漁業経営体数は、事業所を含む。)

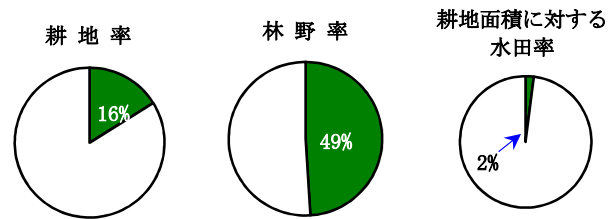
【総生産(平成30年度)】

県内総生産	4兆5,056億円
第1次産業 (農業・林業・水産業)	606億円
第2次産業 (鉱業・製造業・建設業)	8,061億円
第3次産業 (サービス業等)	3兆6,625億円

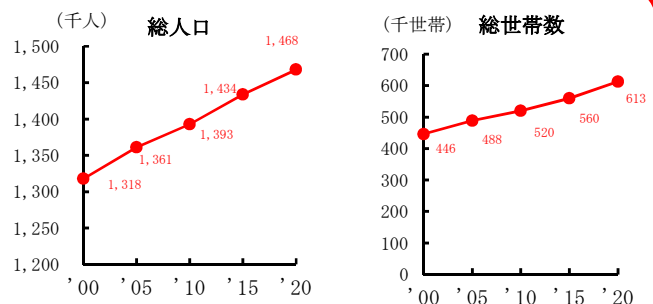
※輸入品に課される税等を算入していないため、計と内訳が一致しません。

1人当たり県民所得	239万円
1人当たり国民所得	320万円

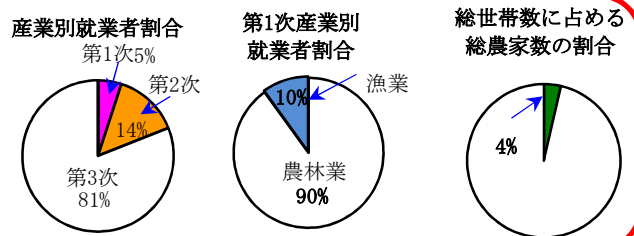
■面積



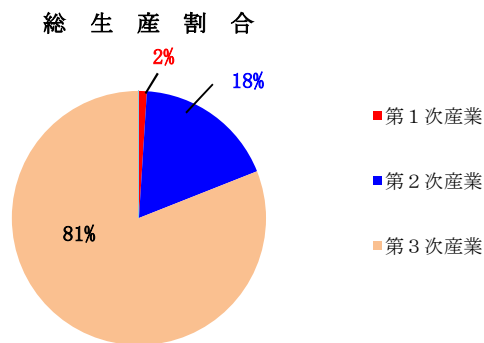
■総人口・総世帯数の動き



■就業者

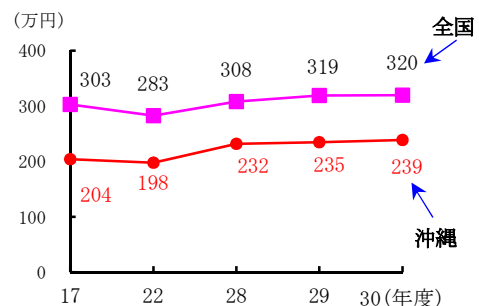


■総生産割合



注: 単位未満の数値は四捨五入しています。

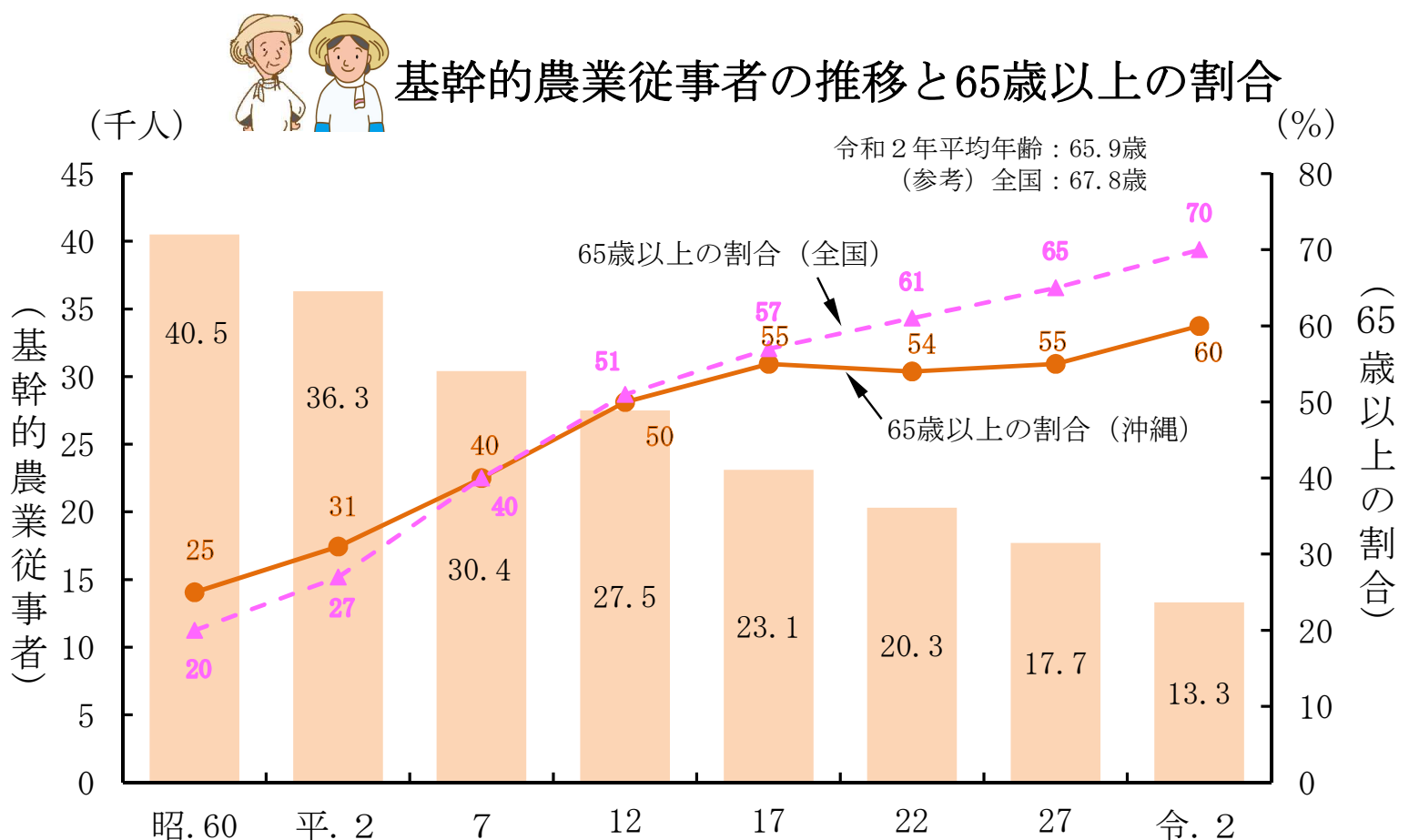
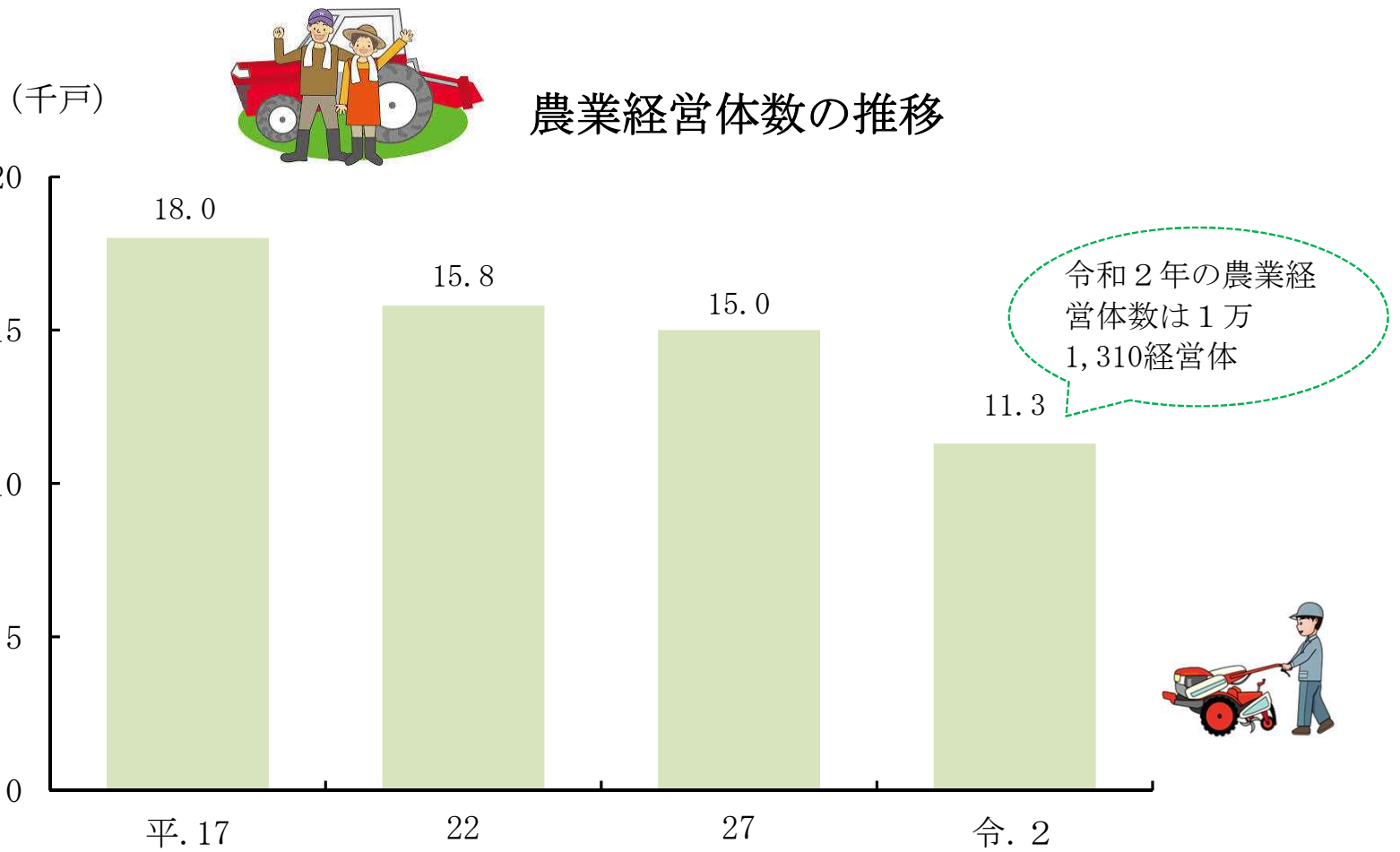
一人当たり所得



資料: 総土地面積は、国土地理院『令和3年全国都道府県市区町村別面積調』(4月1日時点)。林野面積、総農家数、林家数は、農林水産省大臣官房統計部『2020年農林業センサス』。耕地面積、田耕地面積は、農林水産省大臣官房統計部『令和2年耕地面積調査』。人口及び世帯数は、総務省統計局『令和2年国勢調査』。就業者数は、総務省統計局『平成27年国勢調査』。漁業経営体数は、農林水産省大臣官房統計部『2018年漁業センサス』。総生産は、内閣府経済社会総合研究所『平成30年度国民経済計算』、沖縄県『平成30年度県民経済計算(県民所得統計)』。

農業経営体数、基幹的農業従事者数

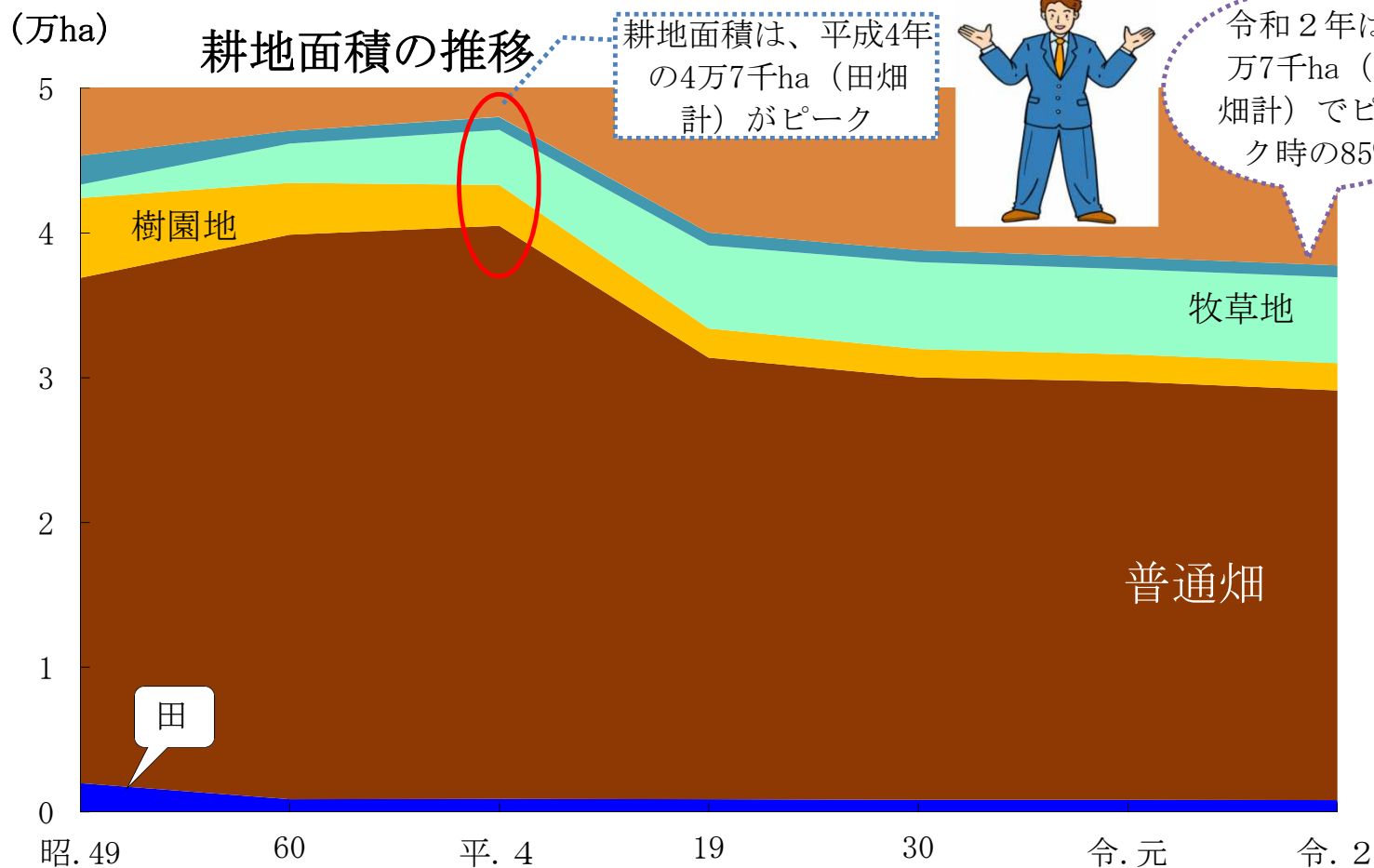
— 沖縄県の農業経営体数及び基幹的農業従事者数は減少傾向 —



※基幹的農業従事者数とは、15歳以上の世帯員のうち、普段の仕事として主に自営農業に従事している者をいいます。

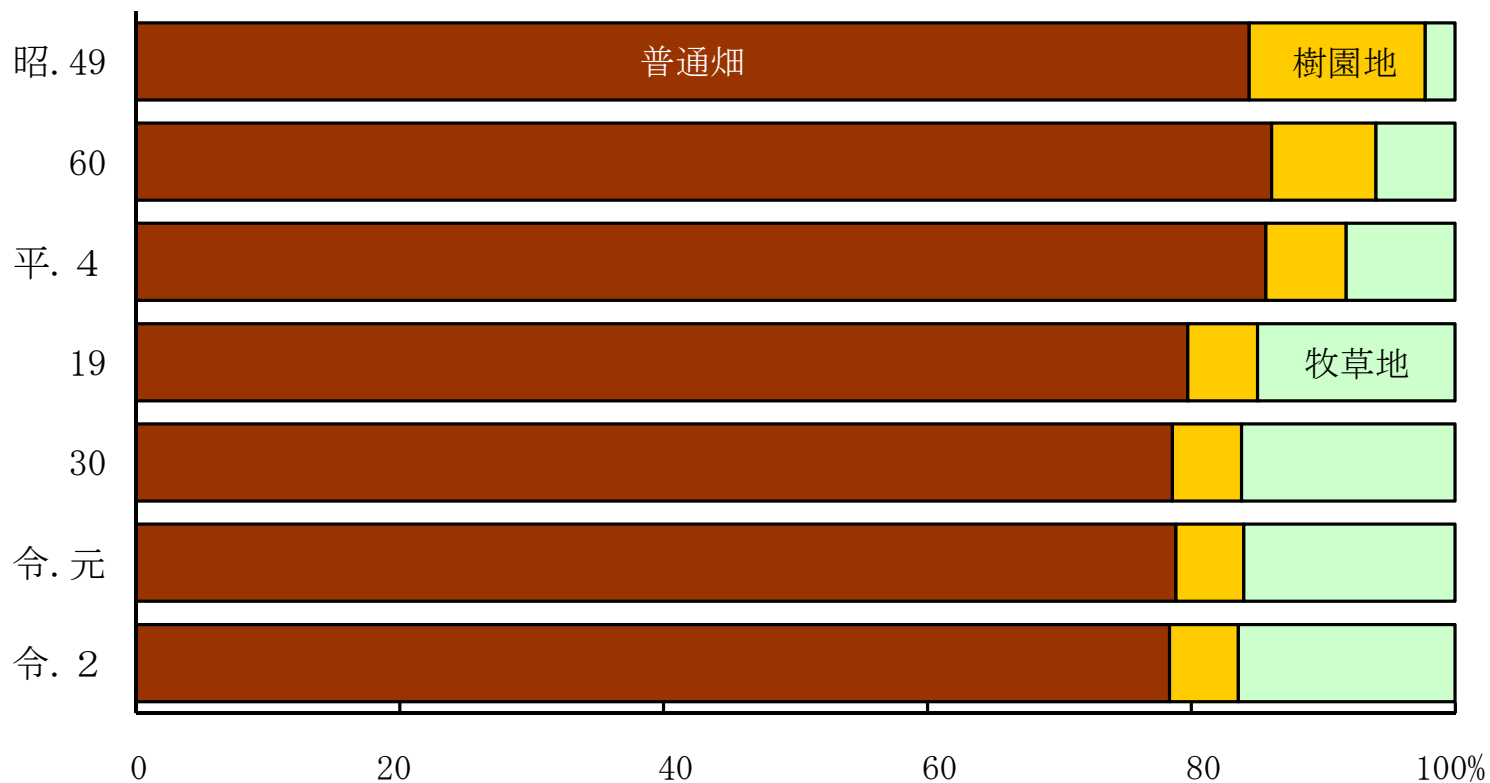
耕地面積

— 畑が98%を占める —



— 畑の約80%が普通畑で、牧草地は16%。樹園地は減少傾向 —

畑種類別構成比の推移



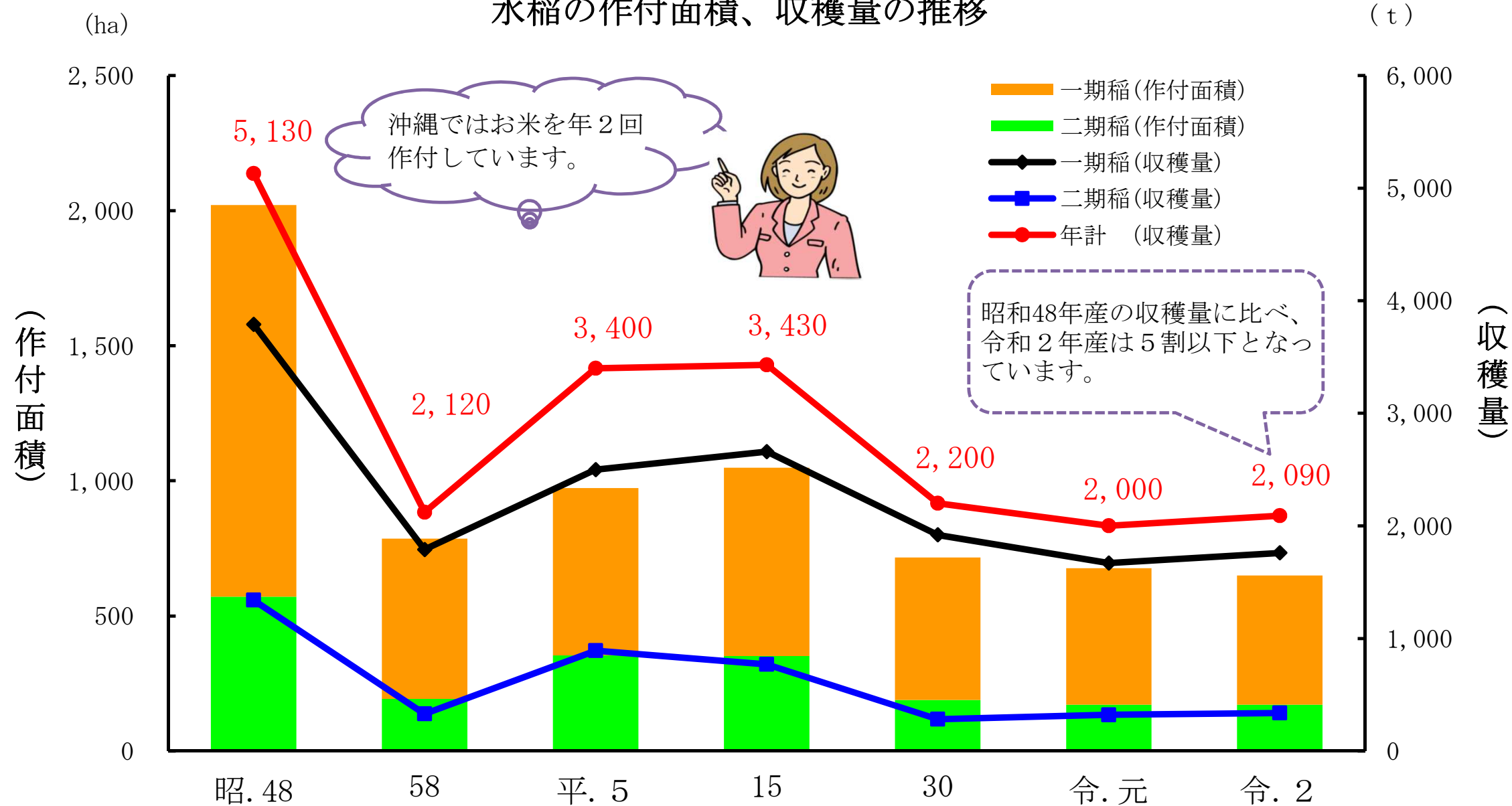
※ 畑面積は、さとうきびや野菜などを作付けする普通畑と、樹園地、牧草地の合計です。

資料：農林水産省大臣官房統計部『耕地面積調査』

水稻の作付面積及び収穫量

— 平成2年産 作付面積及は減少、収穫量は増加 —

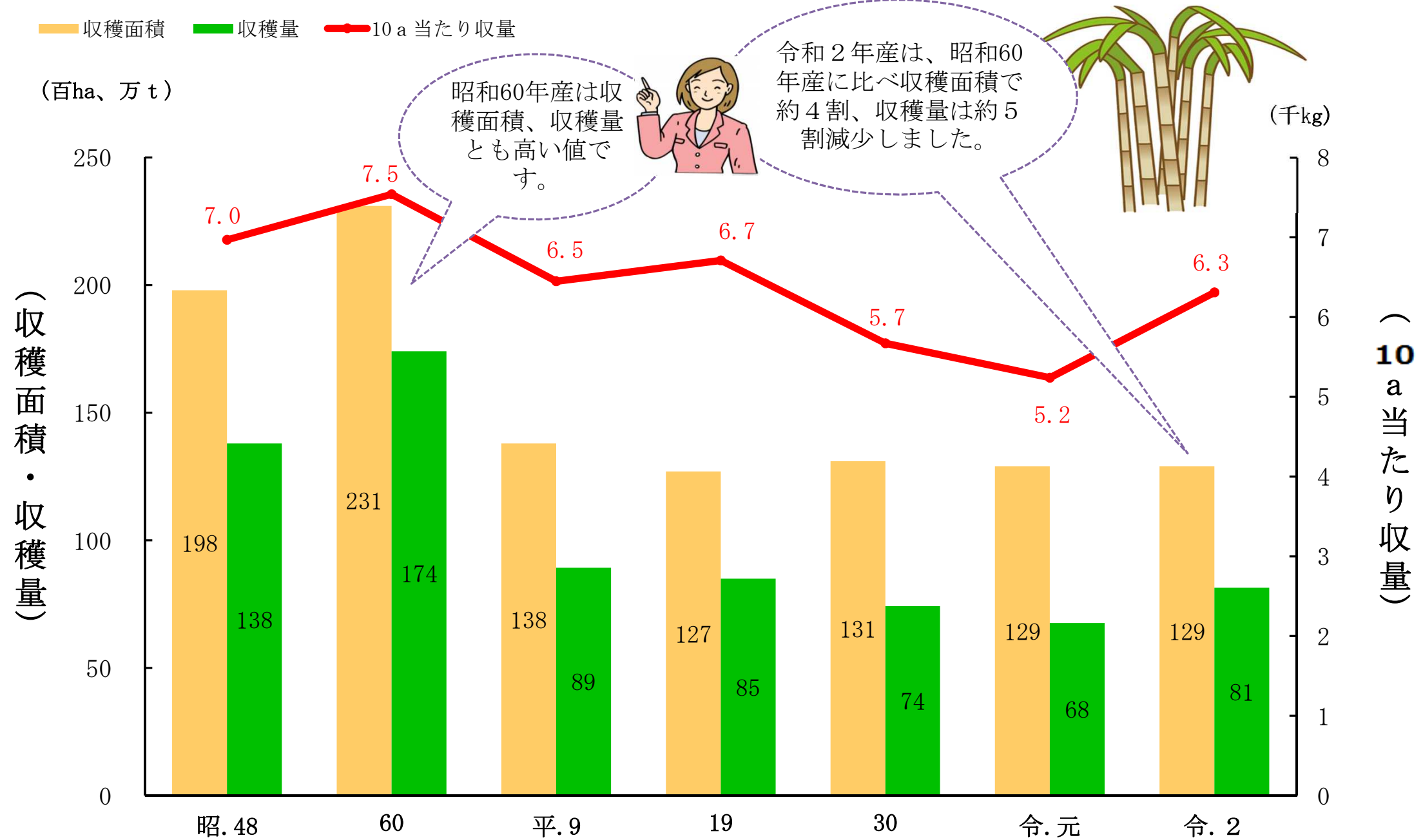
水稻の作付面積、収穫量の推移



資料：農林水産省大臣官房統計部『水稻調査』

さとうきびの収穫面積、10 a 当たり収量及び収穫量の推移

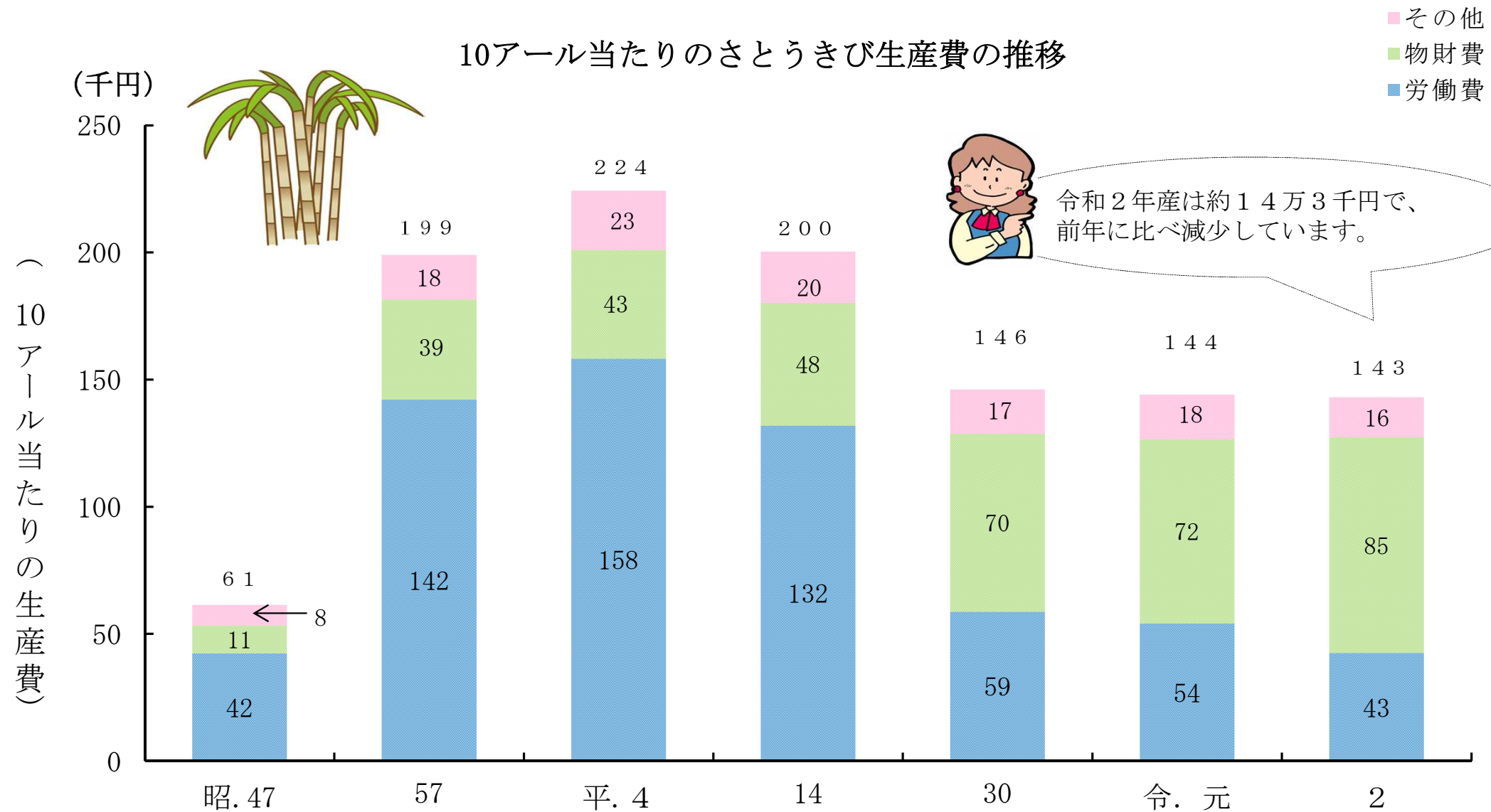
— 令和2年産の収穫量は前年産に比べて20%増加 —



資料：農林水産省大臣官房統計部『甘味資源作物調査』

さとうきび生産費（10アール当たり）

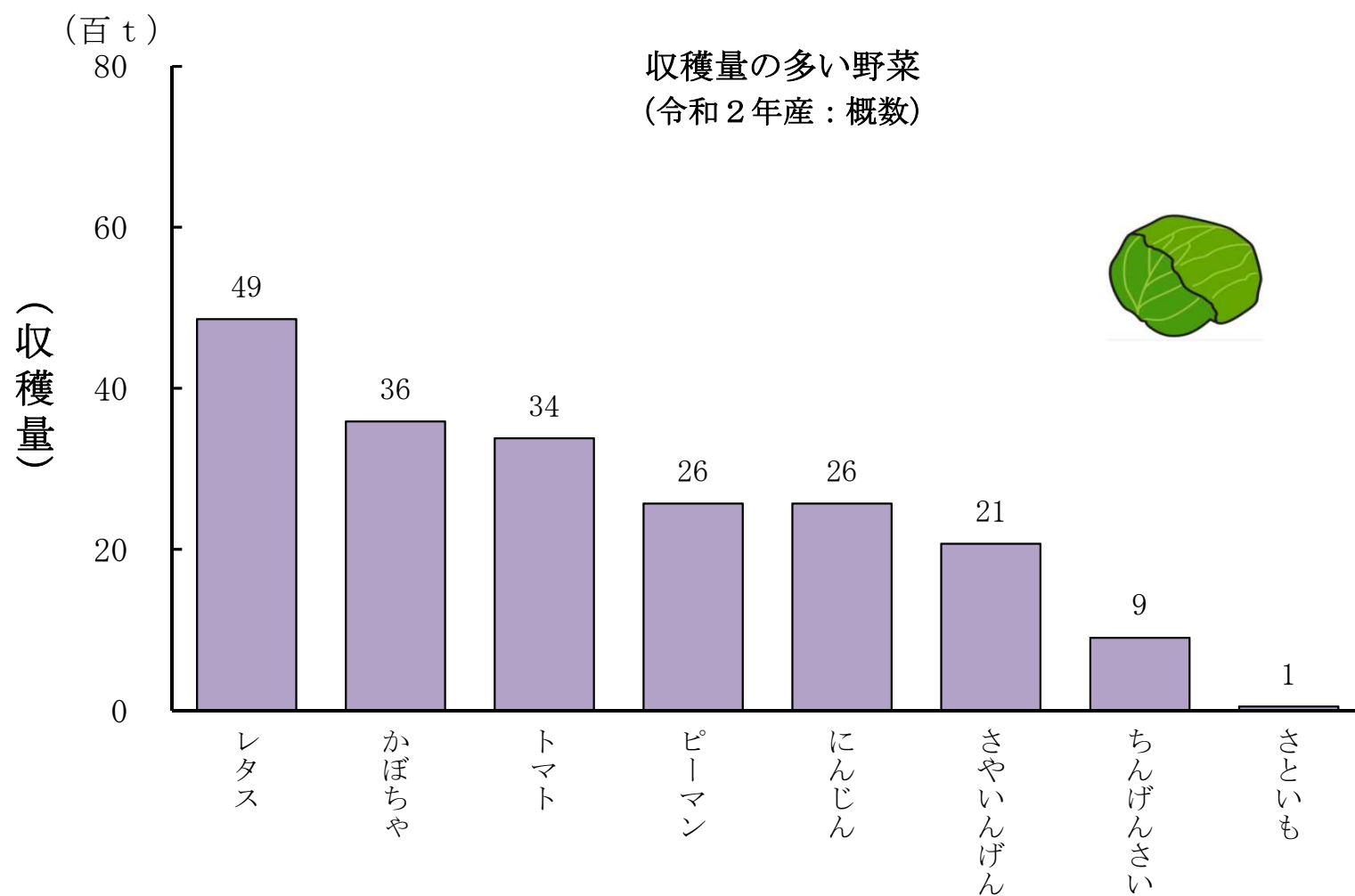
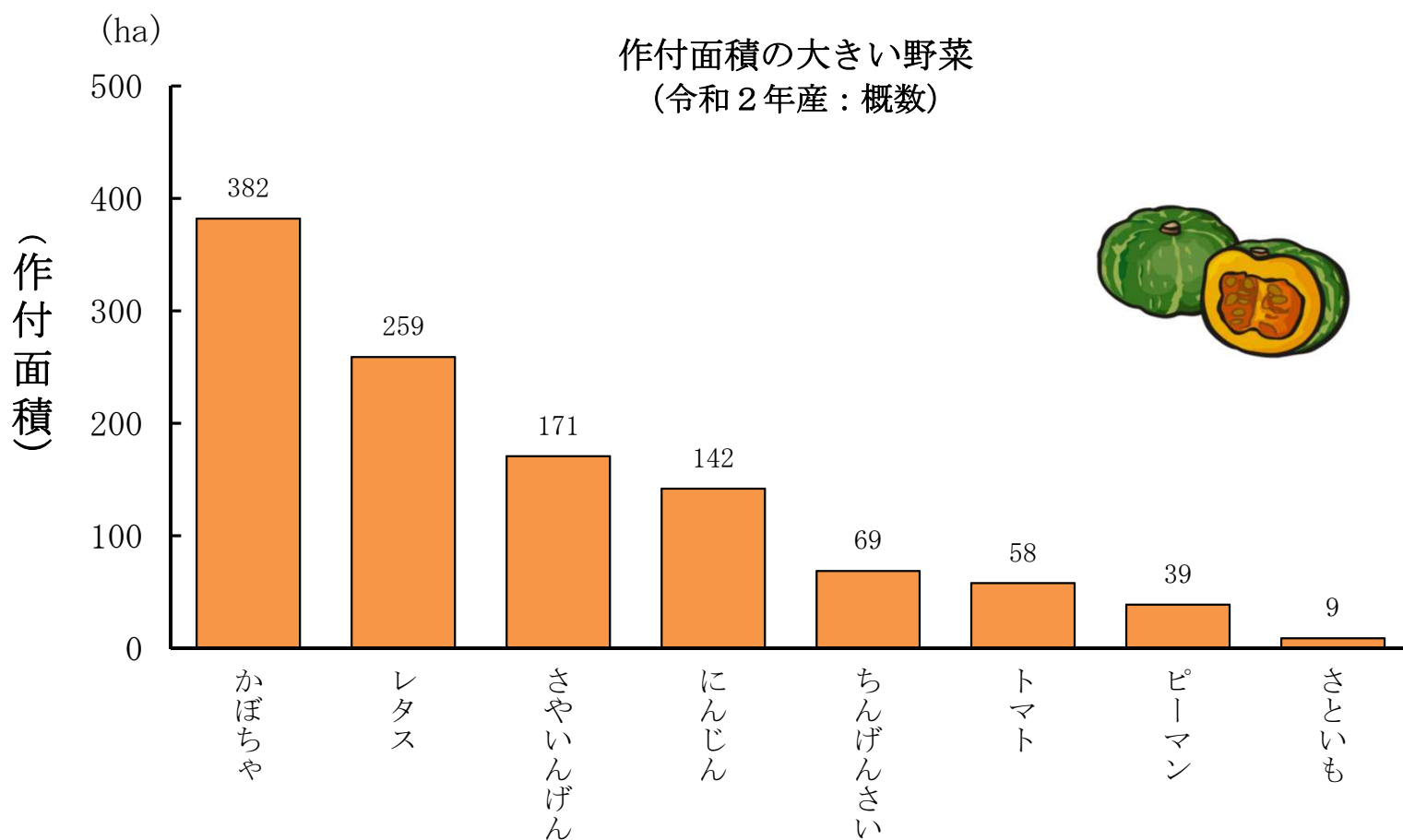
— 令和2年産は前年産に比べ減少 —



資料：農林水産省大臣官房統計部『農業経営統計調査 さとうきび生産費統計』

野菜の作付面積及び収穫量

— かぼちゃが作付面積で1位、レタスが収穫量で1位 —



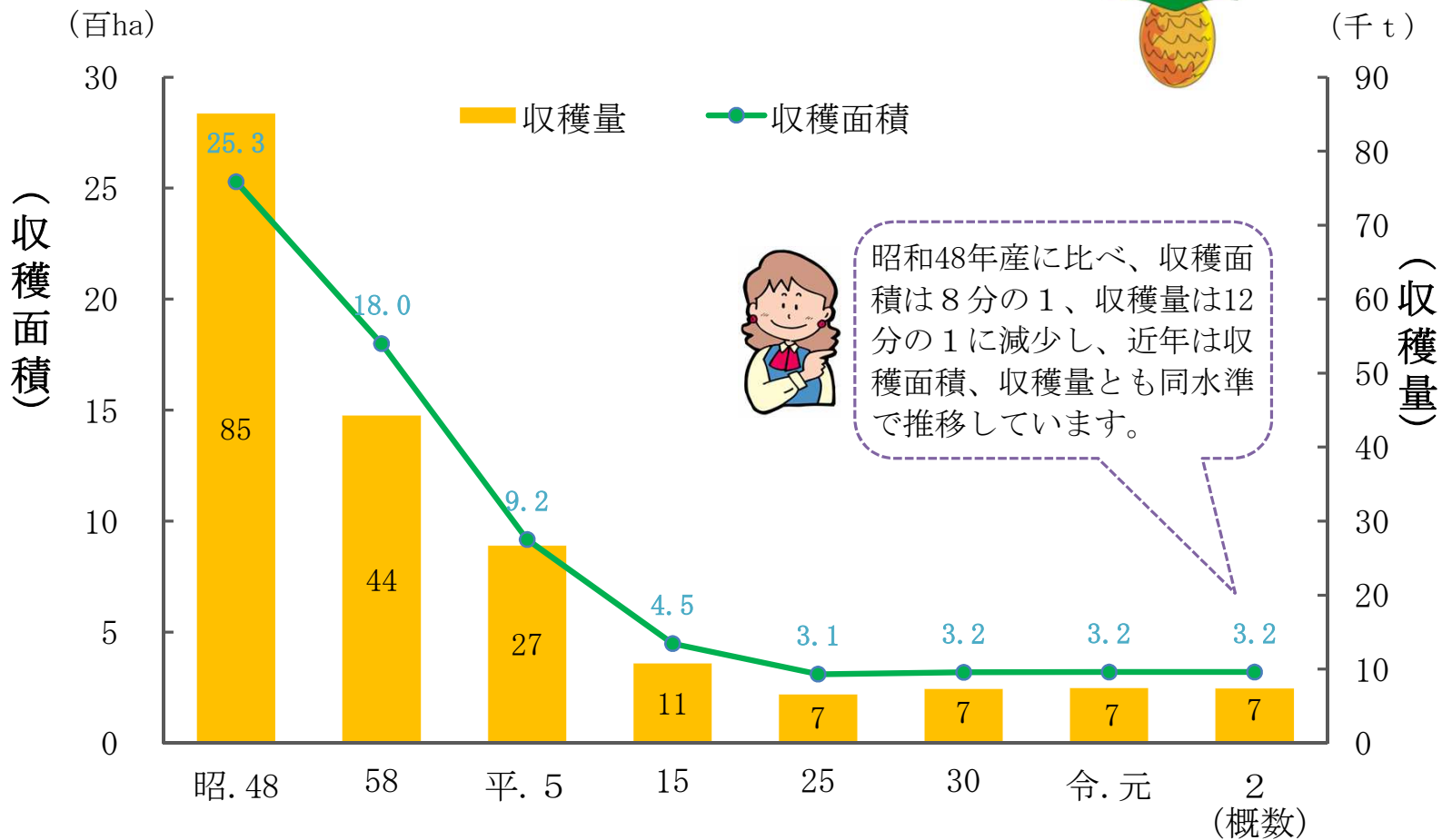
※ 野菜生産出荷統計は全国統一で調査する品目が対象で、ゴーヤー、へちま等は含まれていません。

資料：農林水産省大臣官房統計部『野菜生産出荷統計』

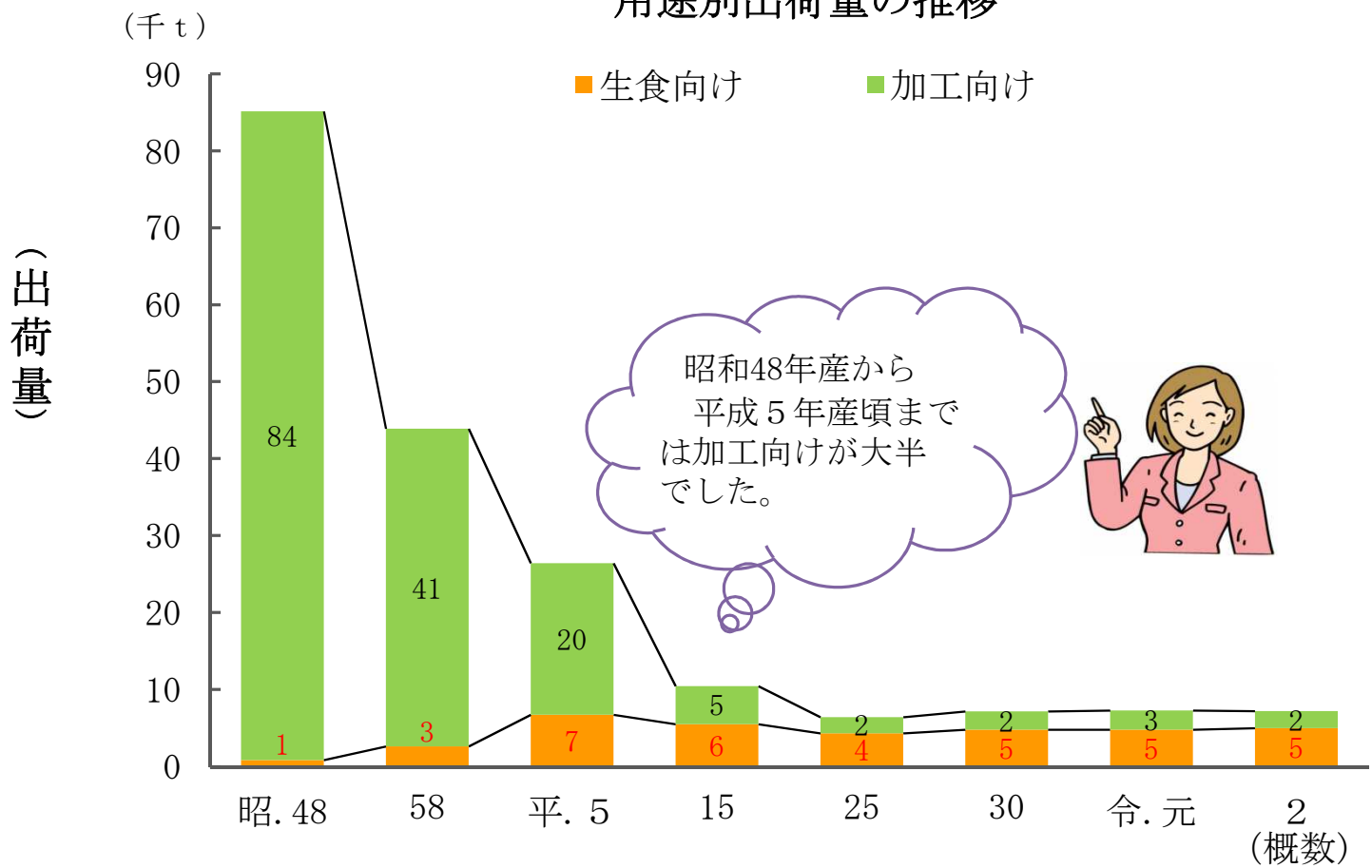
パイナップルの収穫面積、収穫量及び出荷量

— 令和2年産は、収穫量及び出荷量とも前年産より1%減少 —

収穫面積及び収穫量の推移



用途別出荷量の推移

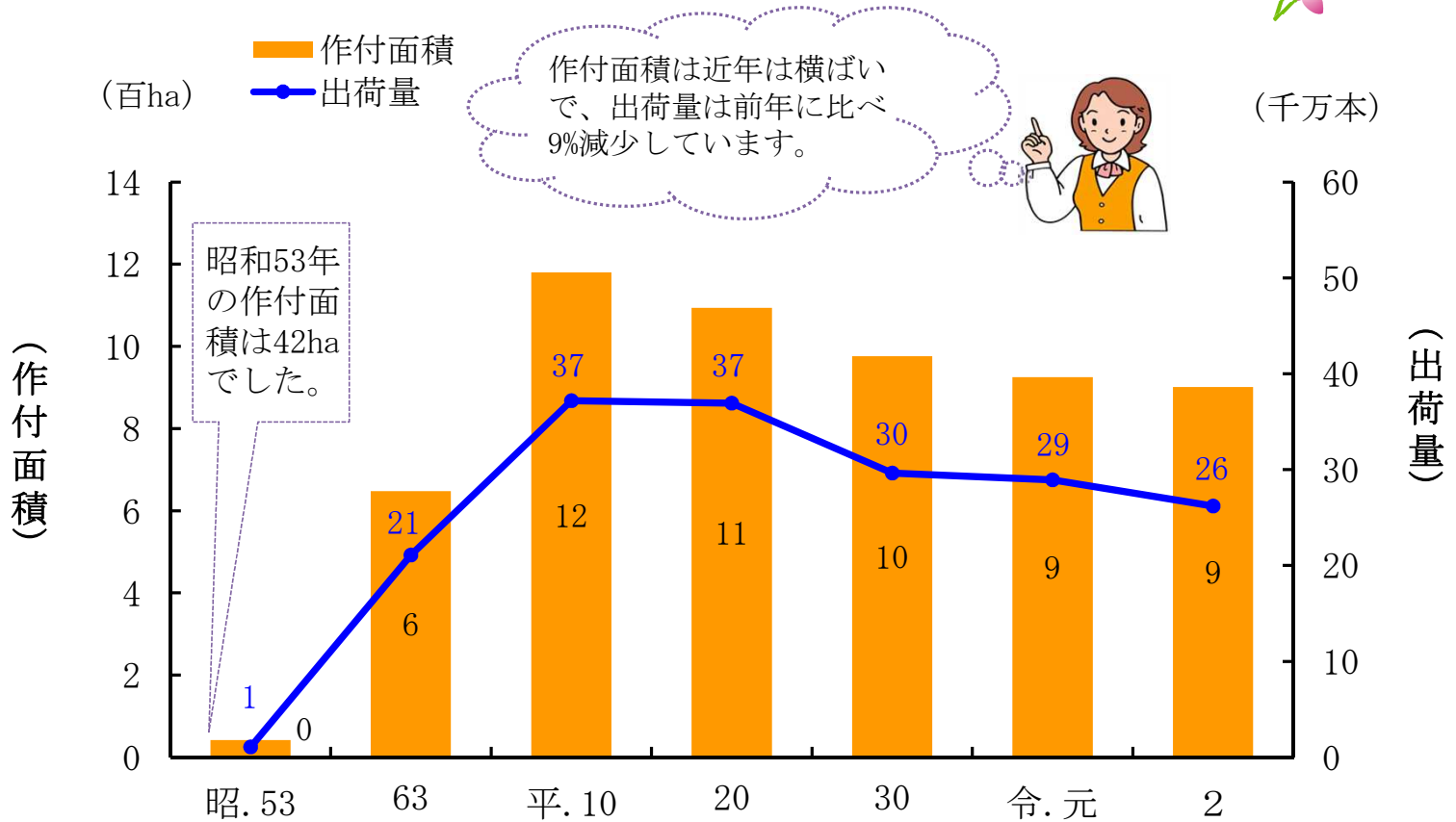
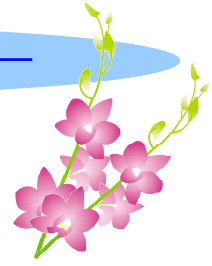


資料：農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』

花き (切り花類) の作付面積及び出荷量

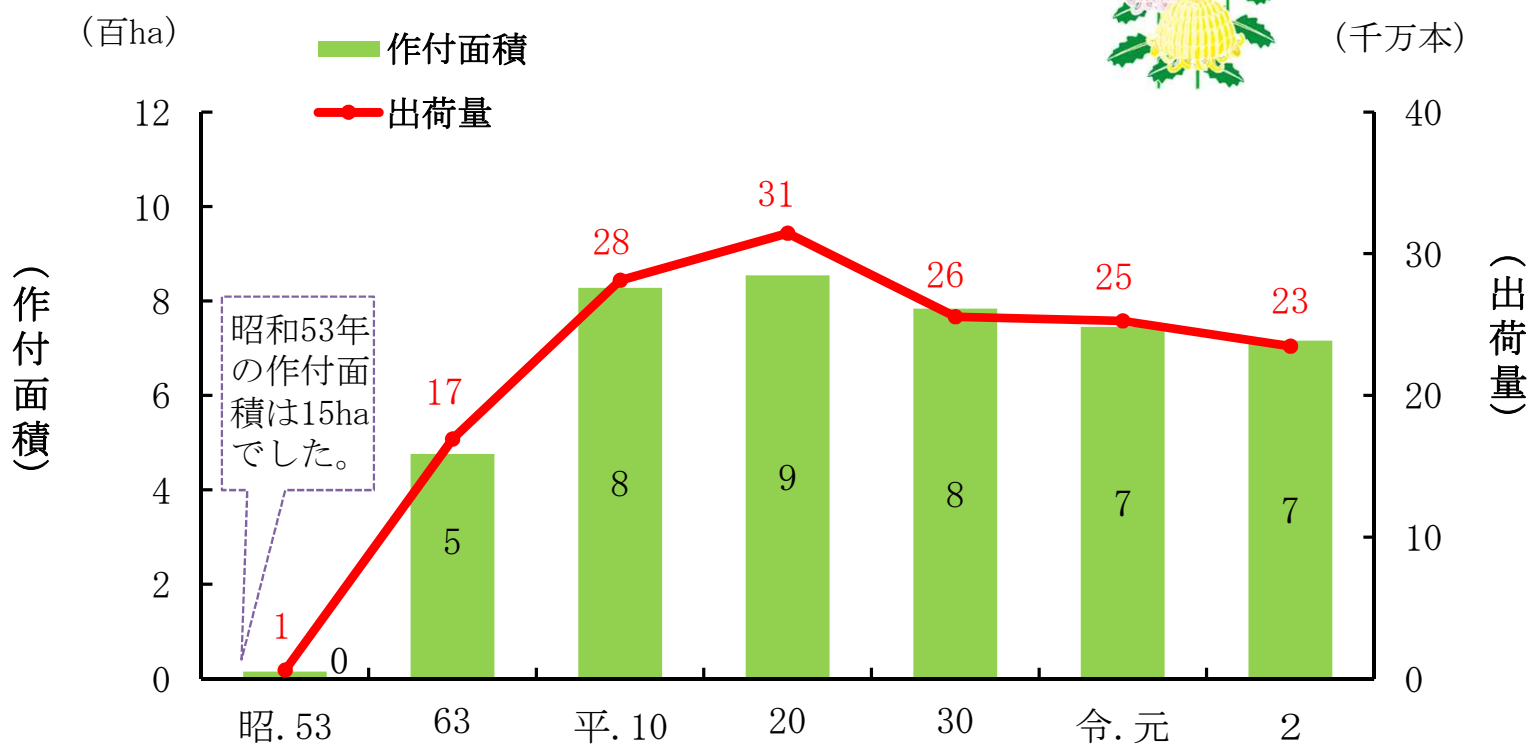
— 令和2年産花き(切り花類)の出荷量は前年産より9%減少 —

切り花類の作付面積及び出荷量の推移



— 令和2年産きくの出荷量は前年産に比べ4%減少 —

きくの作付面積及び出荷量の推移

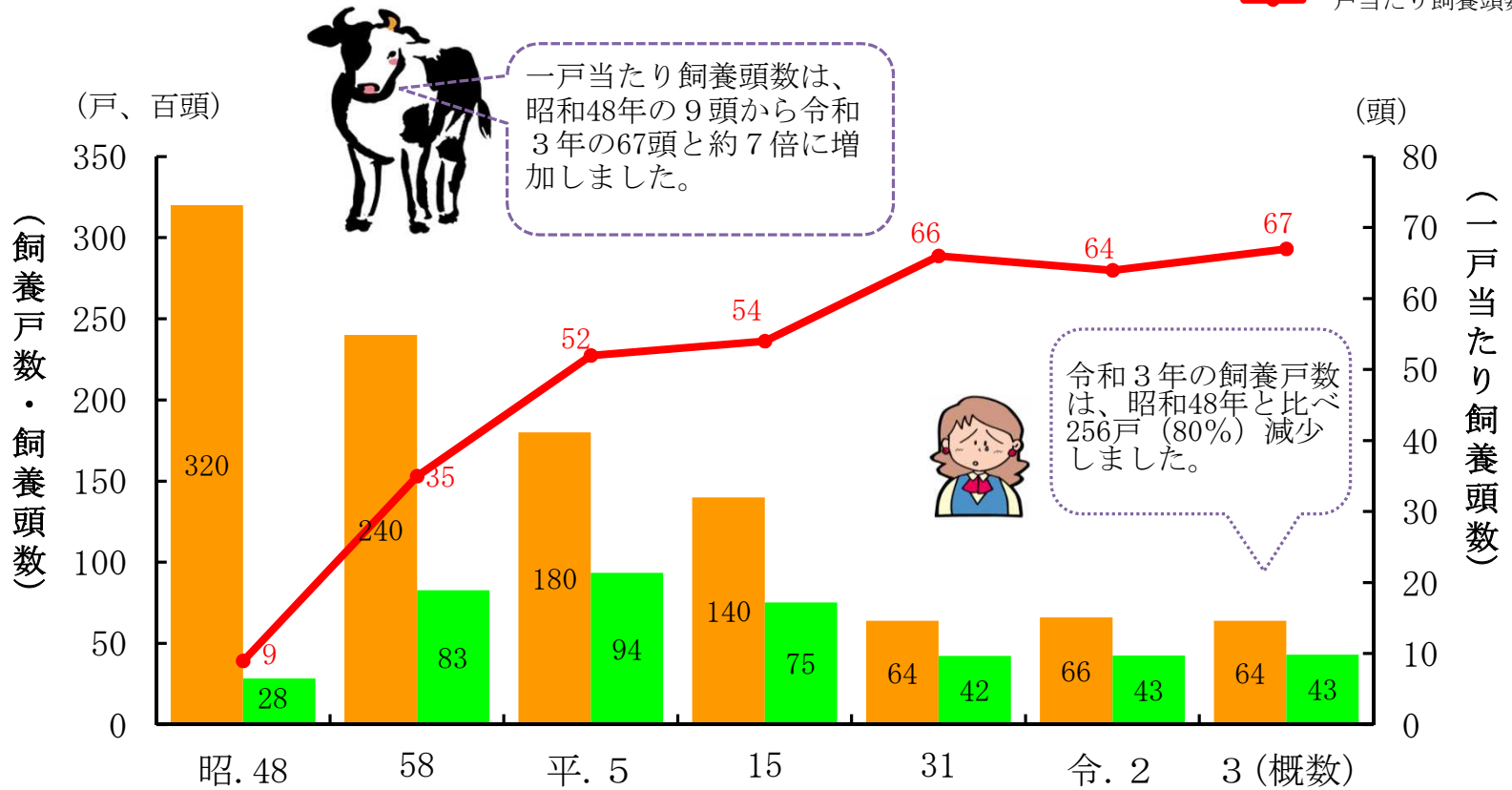


家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数

1 乳用牛 — 飼養戸数が減少、大規模化が進む —

乳用牛の飼養戸数及び飼養頭数の推移

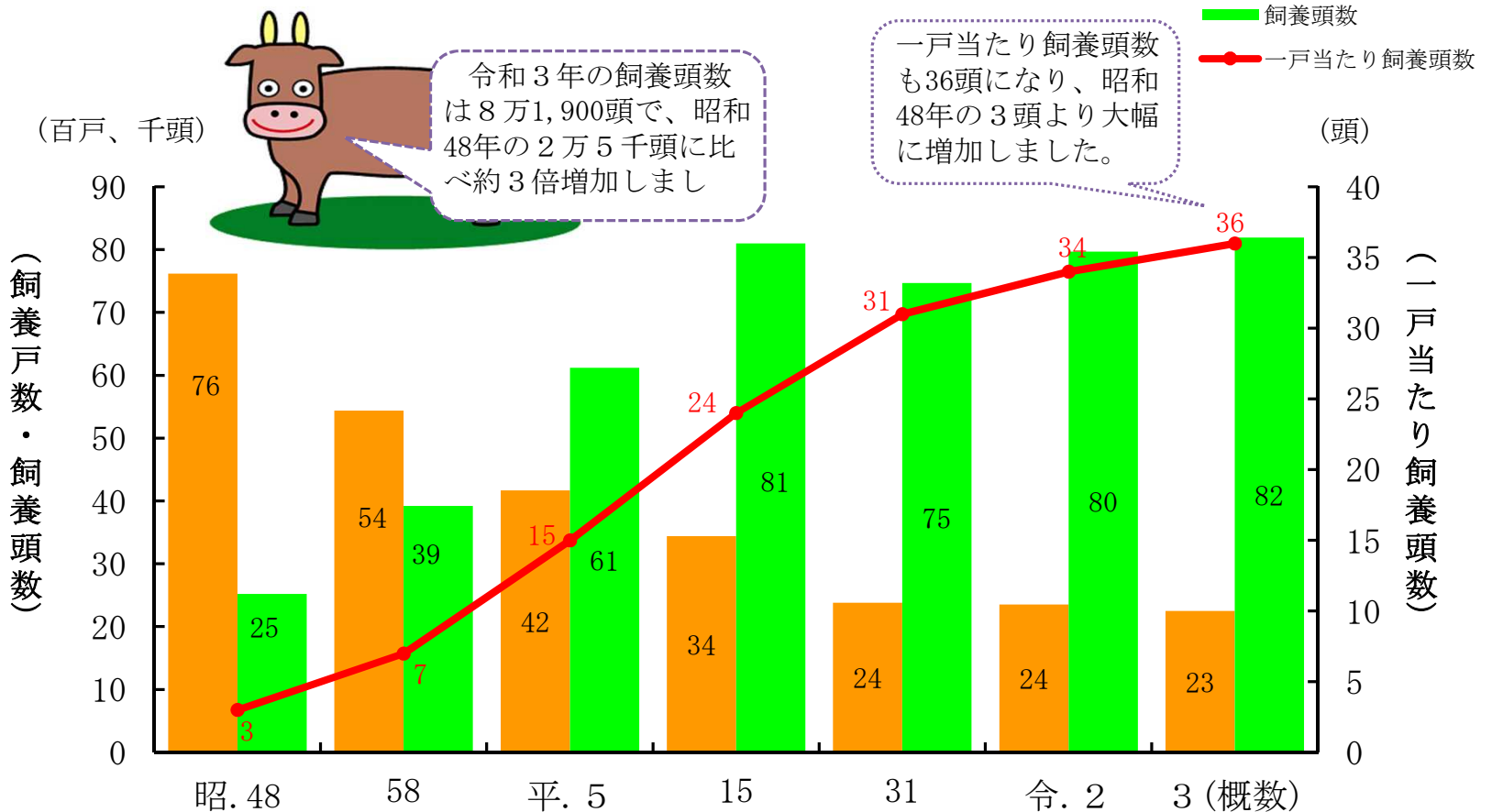
飼養戸数
飼養頭数
一戸当たり飼養頭数



2 肉用牛 — 飼養戸数が減少、大規模化が進む —

肉用牛の飼養戸数及び飼養頭数の推移

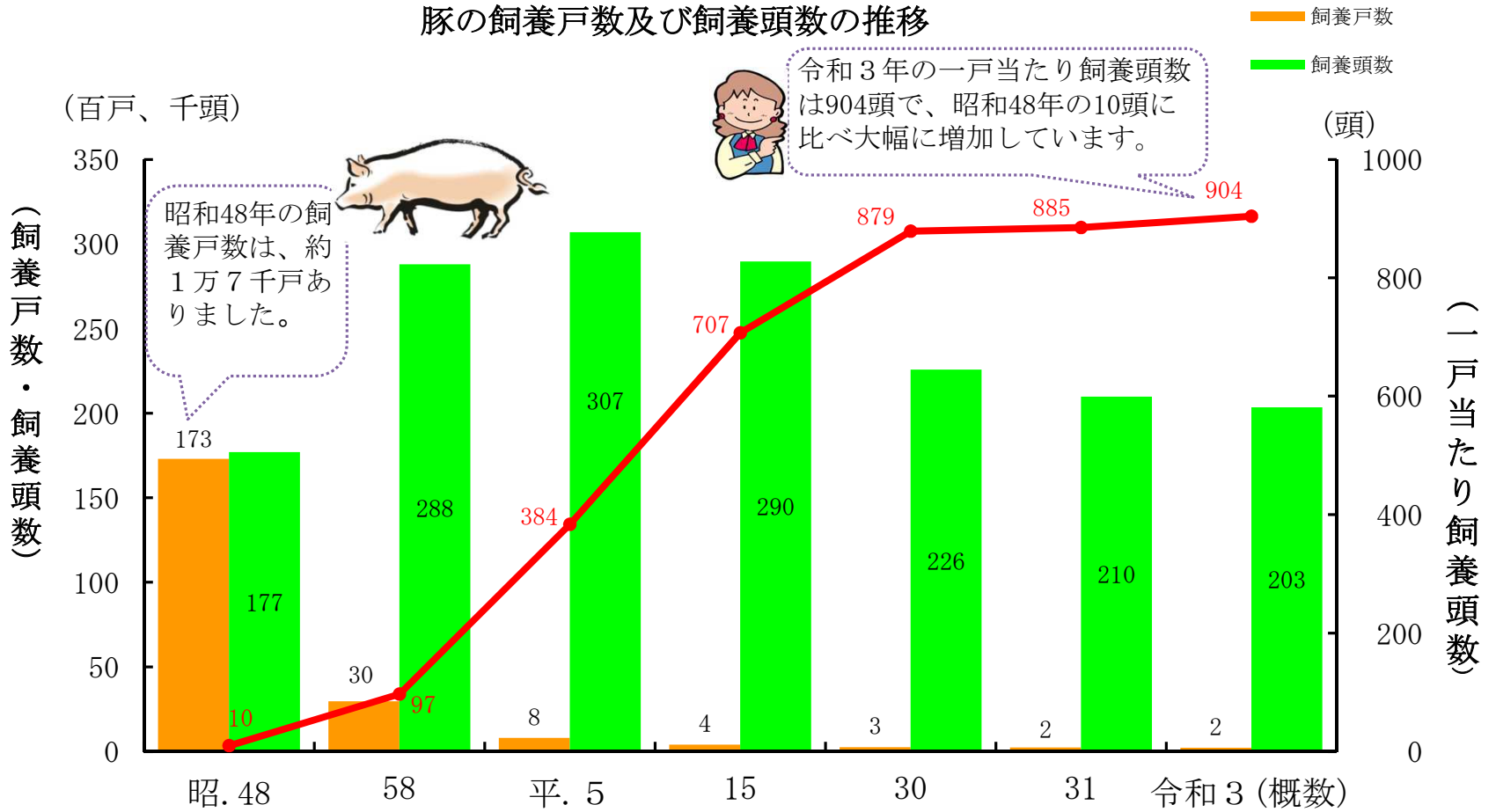
飼養戸数
飼養頭数
一戸当たり飼養頭数



資料：農林水産省大臣官房統計部『畜産統計調査』

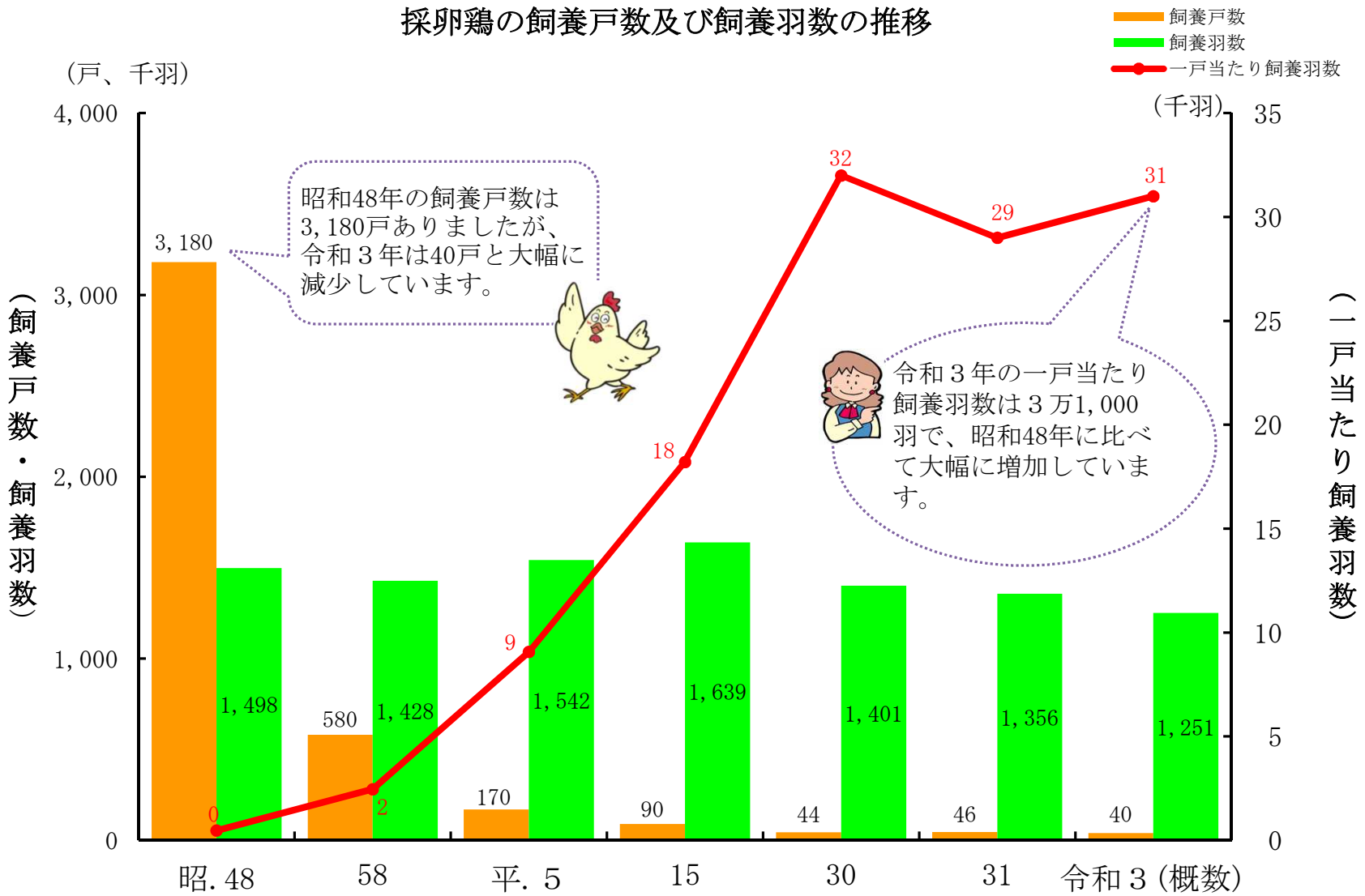
3 豚 — 飼養戸数が減少、大規模化が進む —

豚の飼養戸数及び飼養頭数の推移



4 採卵鶏 — 飼養戸数が減少、大規模化が進む —

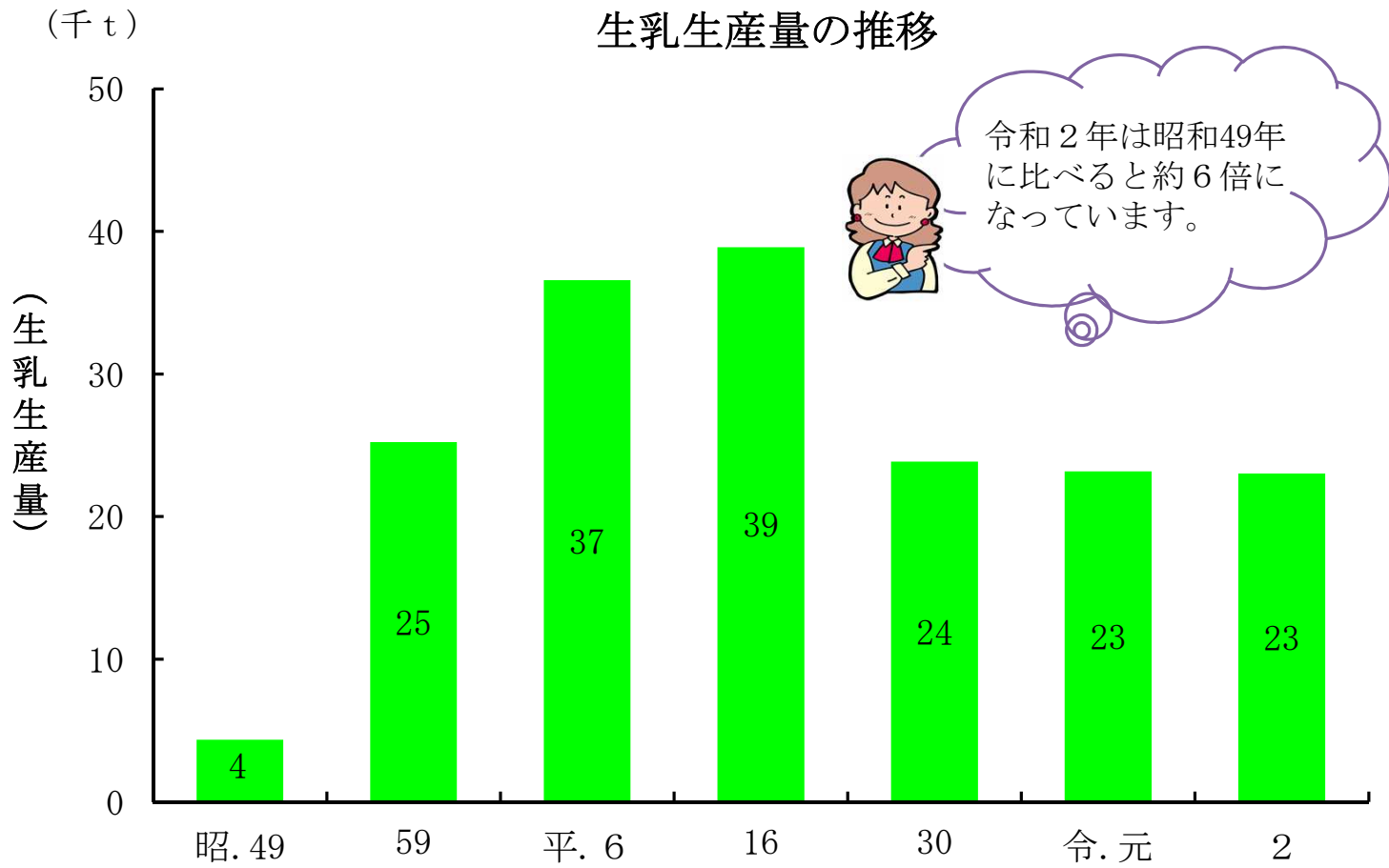
採卵鶏の飼養戸数及び飼養羽数の推移



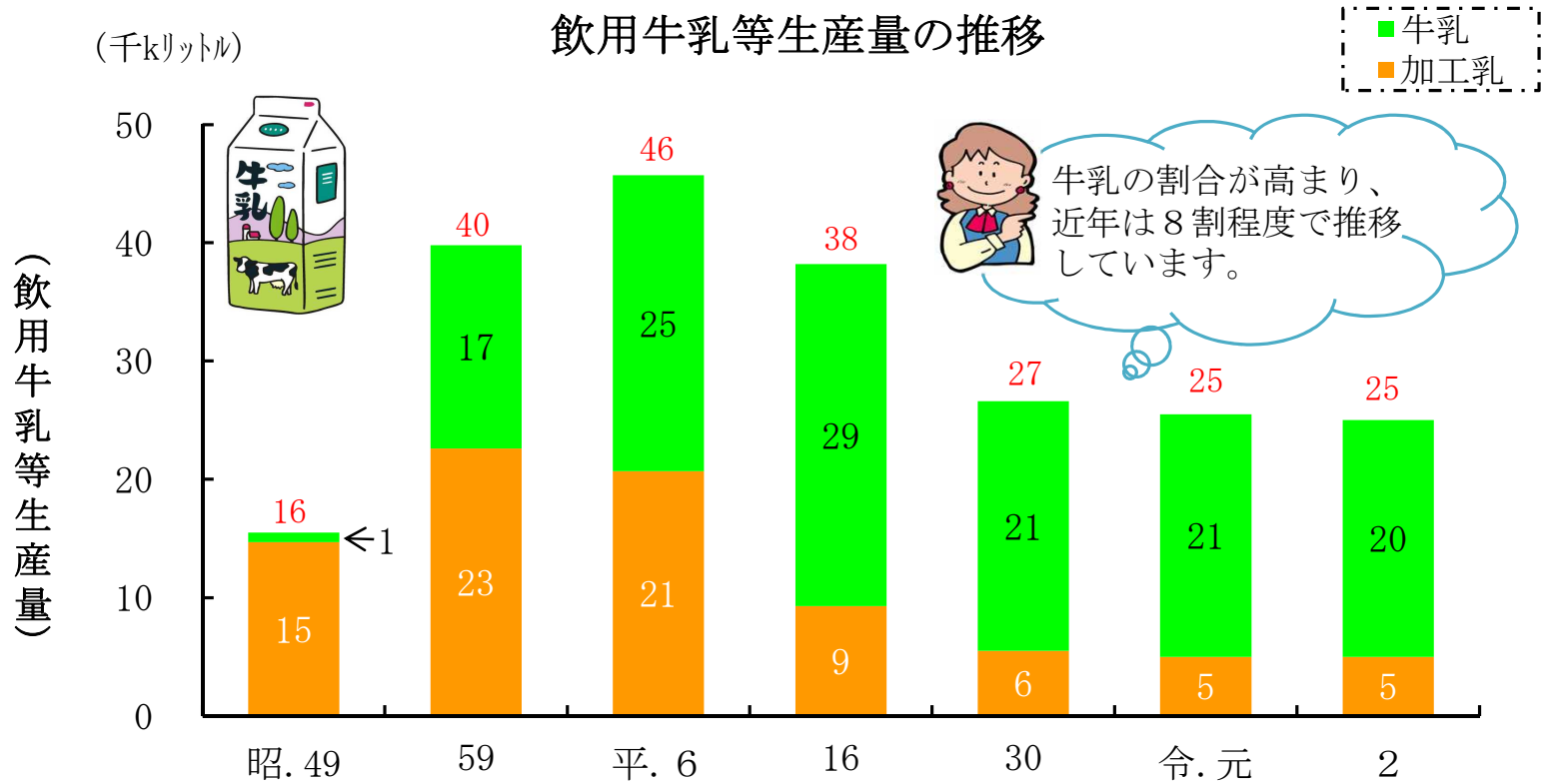
資料：農林水産省大臣官房統計部『畜産統計調査』

生乳及び飲用牛乳等の生産量

1 生乳の生産量及び処理量 — 近年は同水準で推移 —



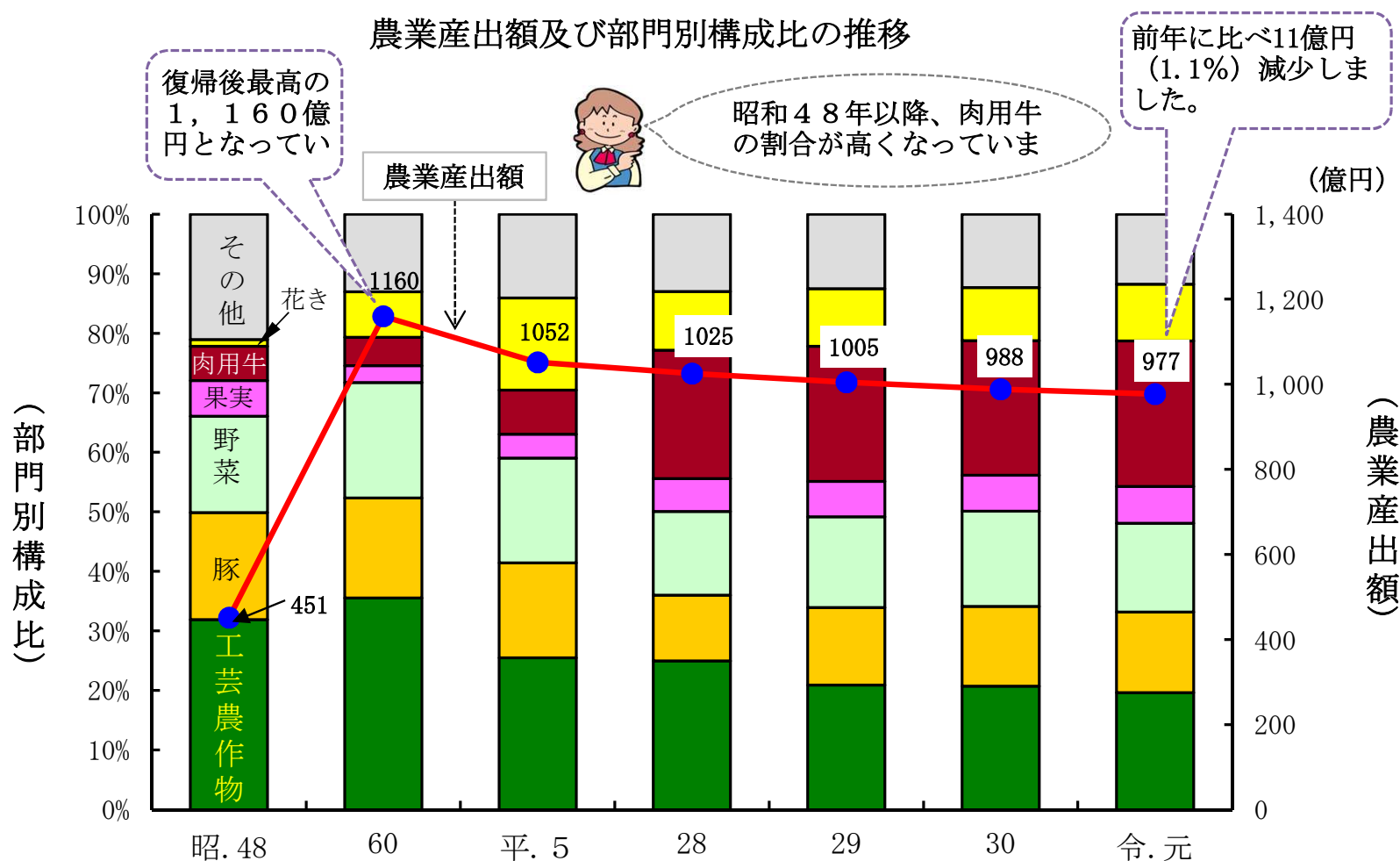
2 飲用牛乳等生産量 — 近年は牛乳の割合が高く推移 —



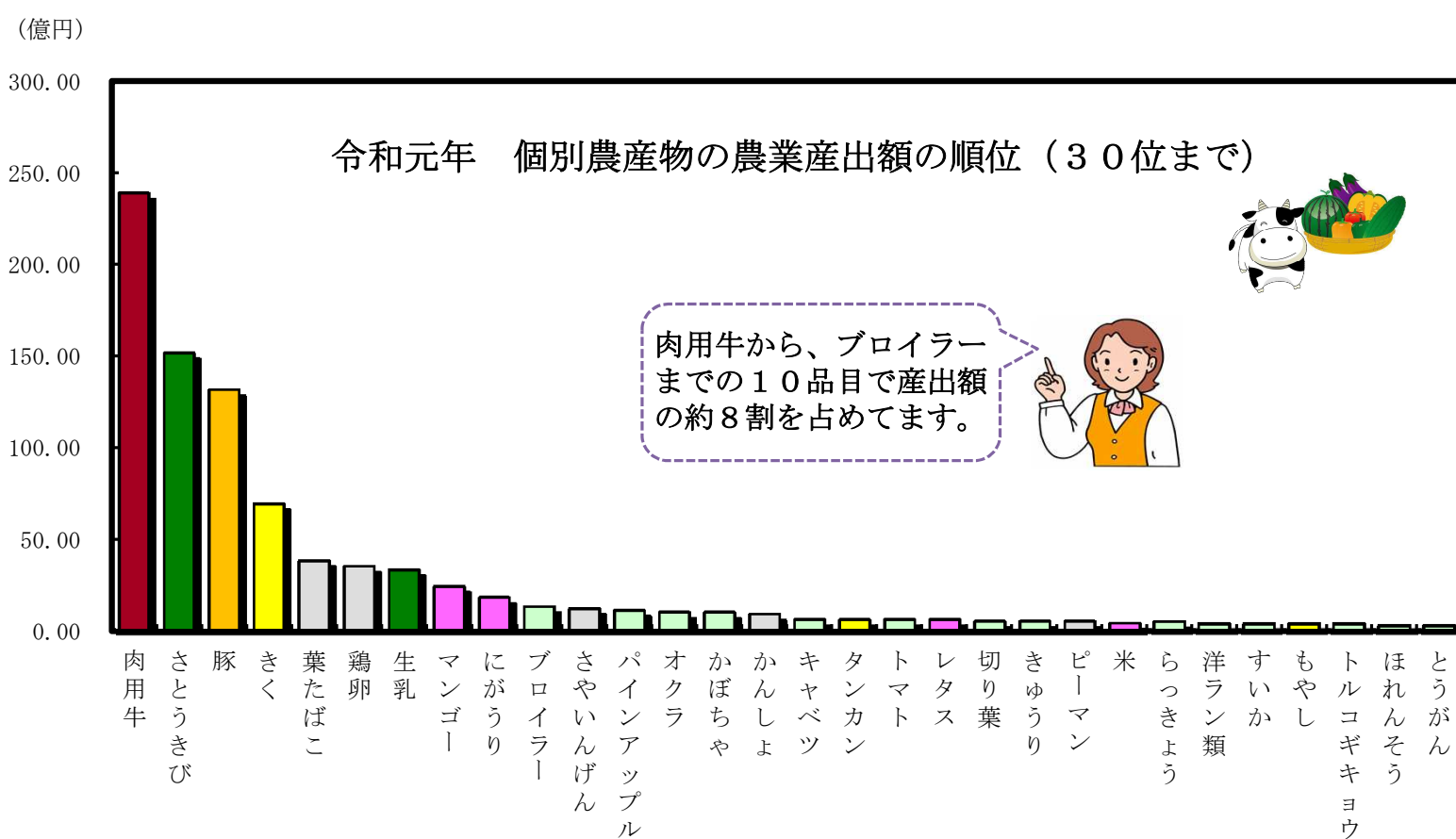
資料：農林水産省大臣官房統計部『牛乳乳製品統計調査』

農業産出額

1 ー 工芸農作物（さとうきび等）の構成比は縮小、肉用牛は拡大の傾向 ー



2 ー 個別農産物の産出額は、上位10品目で約8割を占める。 ー

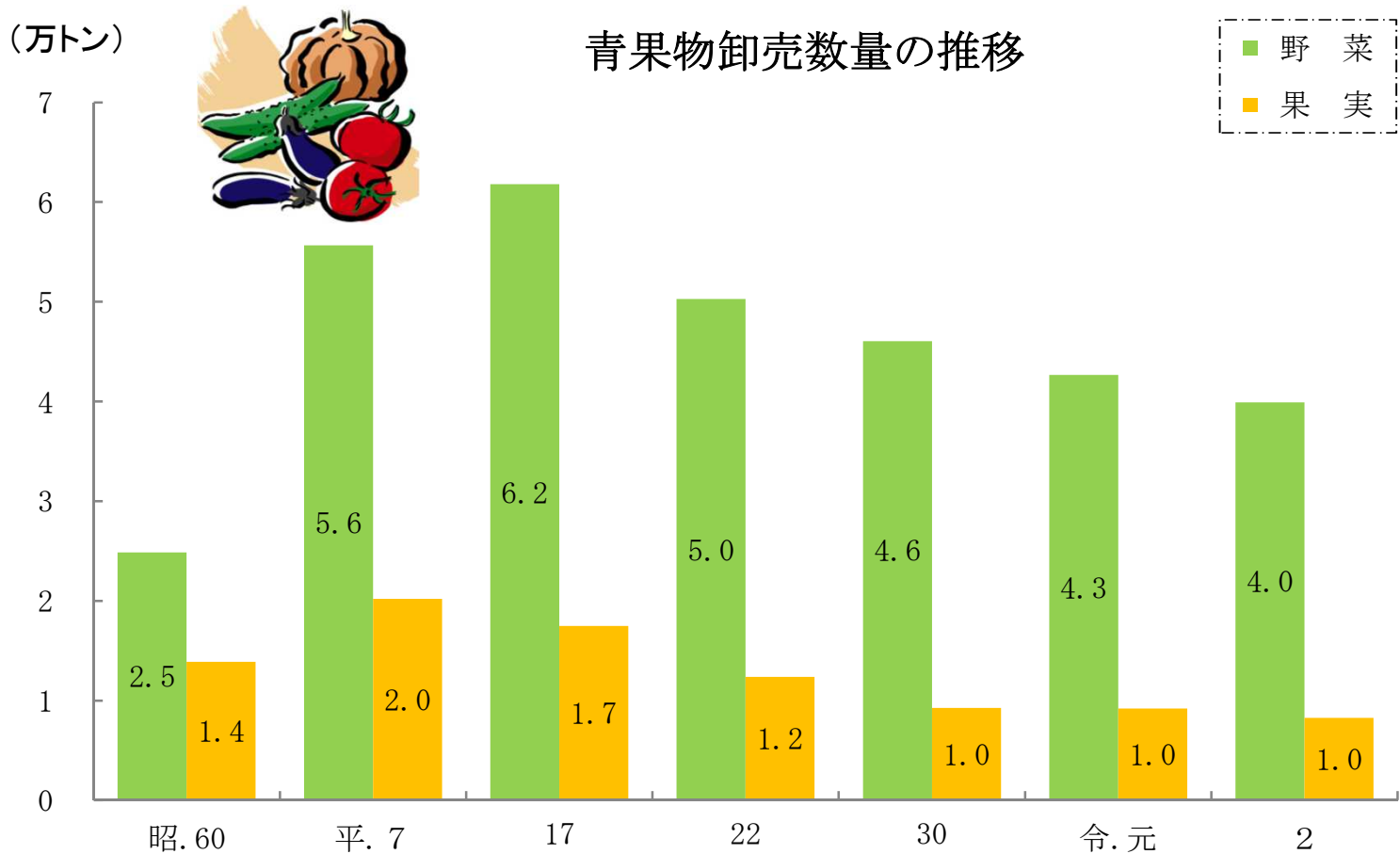


資料：農林水産省大臣官房統計部『生産農業所得統計』

青果物の卸売数量及び卸売価格

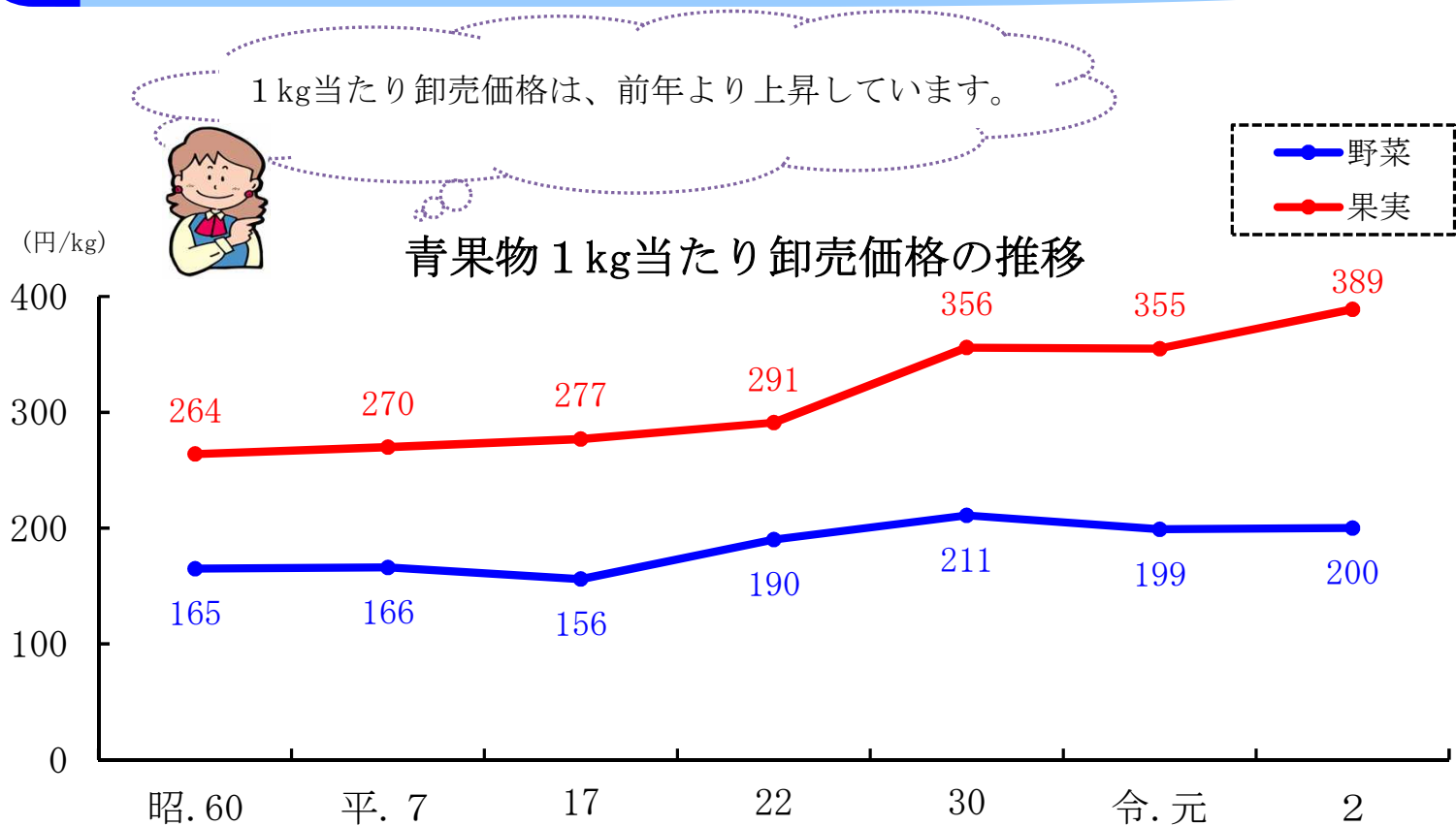
1 卸売数量

— 野菜、果物ともに前年と比べ減少 —



2 卸売価格

— 野菜、果実ともに前年に比べ上昇 —

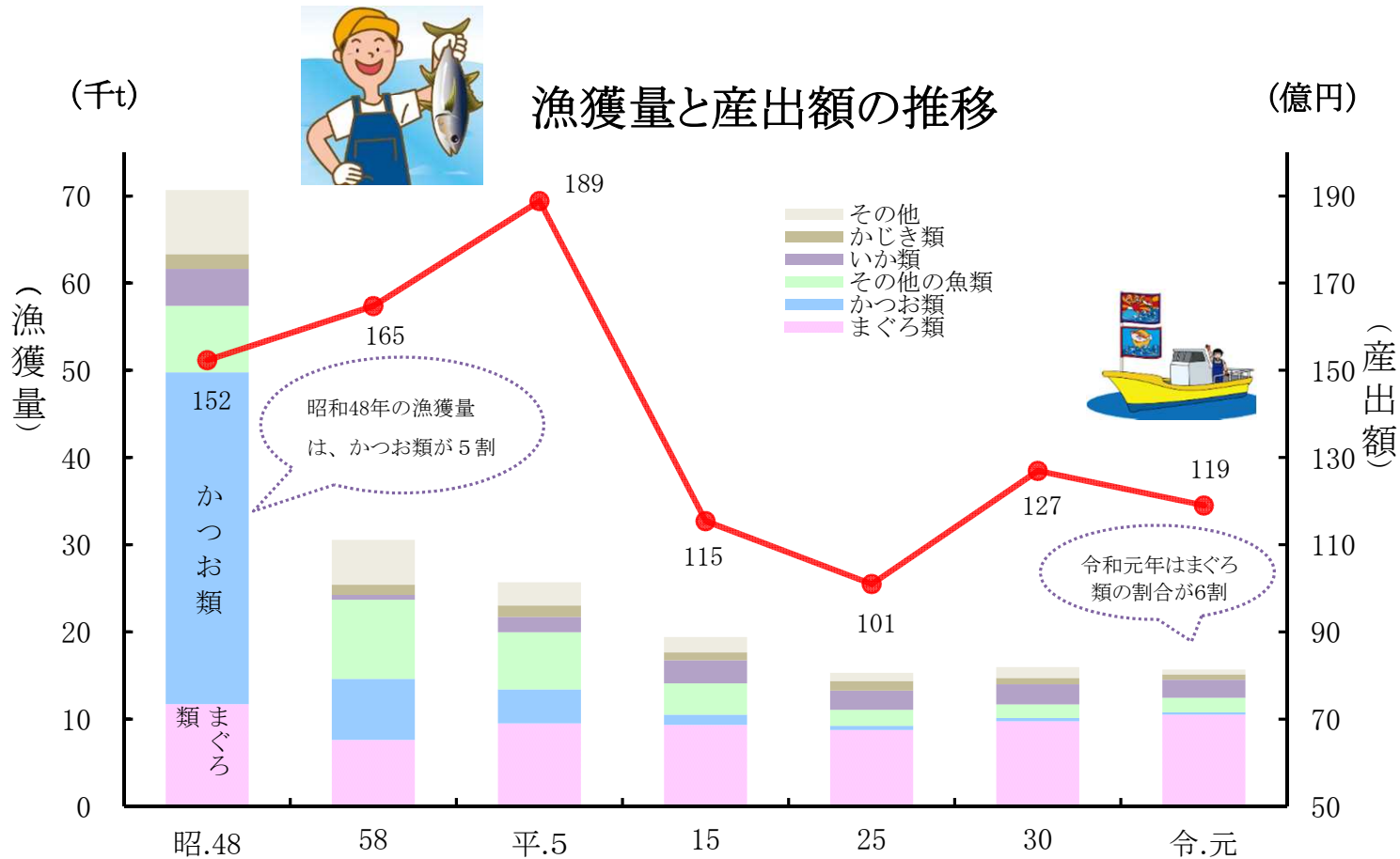


資料：農林水産省大臣官房統計部『青果物卸売市場調査』

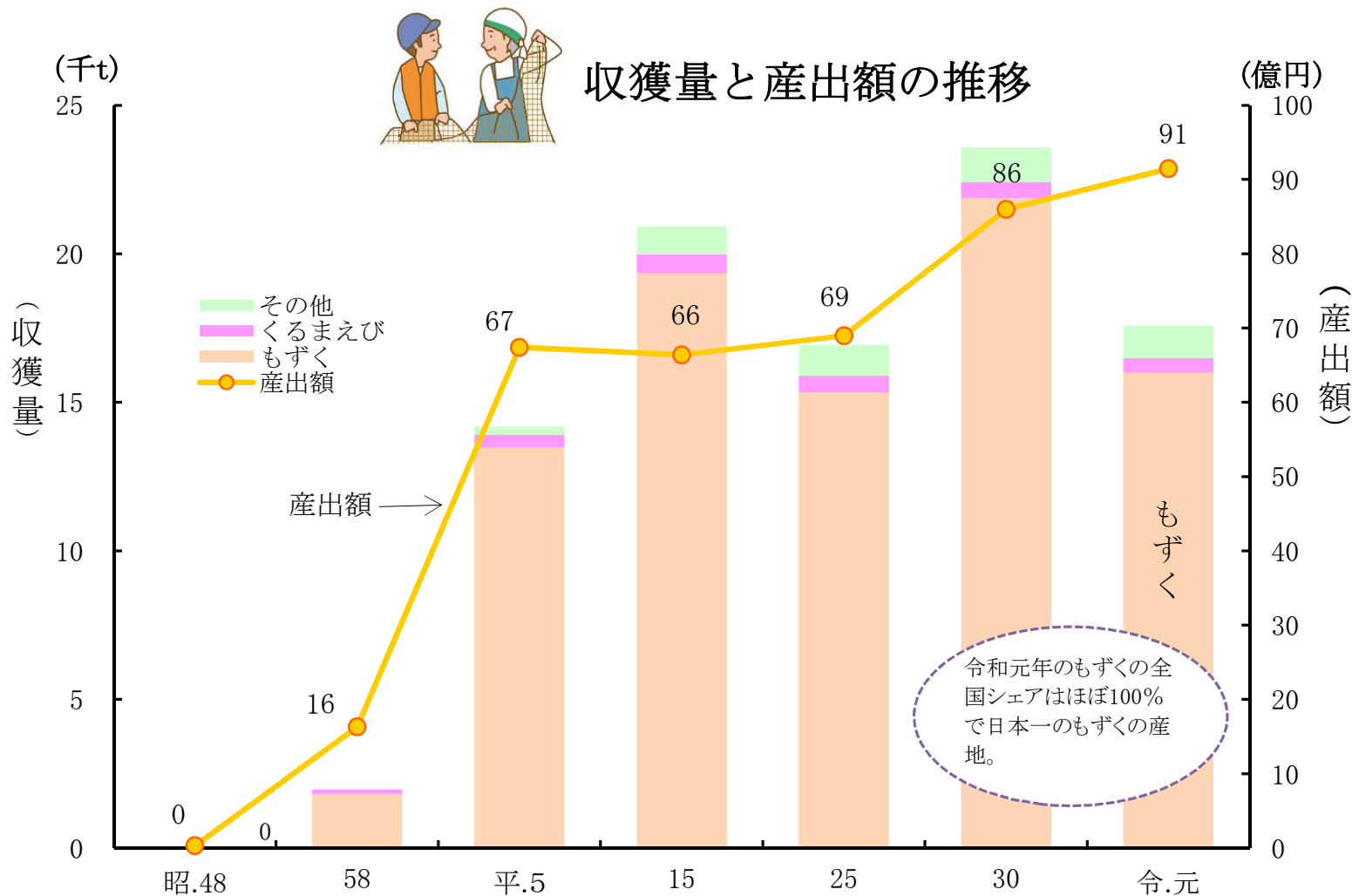
※ 令和2年は概数値

海面漁業生産量及び海面漁業産出額

1 海面漁業 — 漁獲量の6割がまぐろ類 —

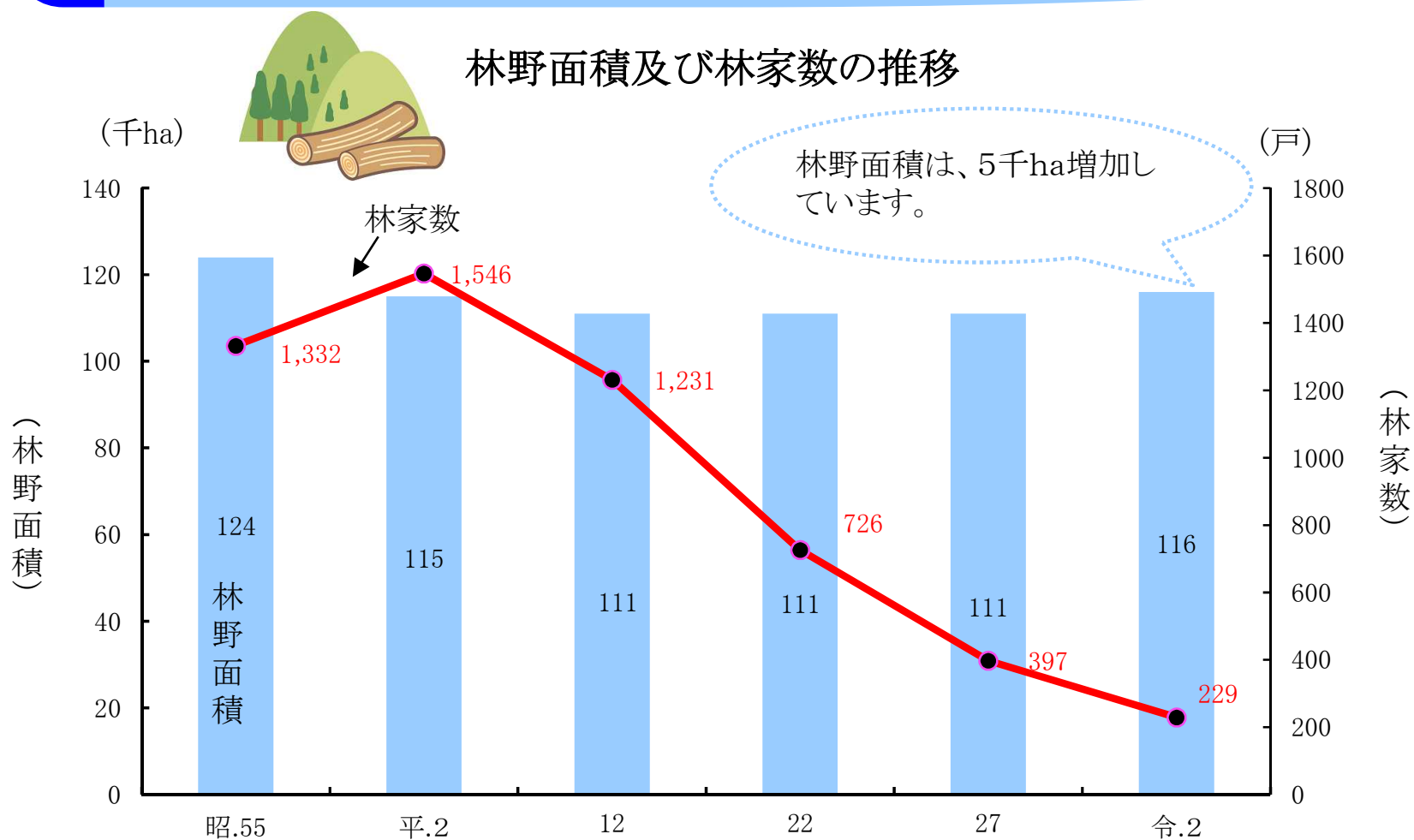


2 海面養殖業 — 日本一のもずくの産地 —



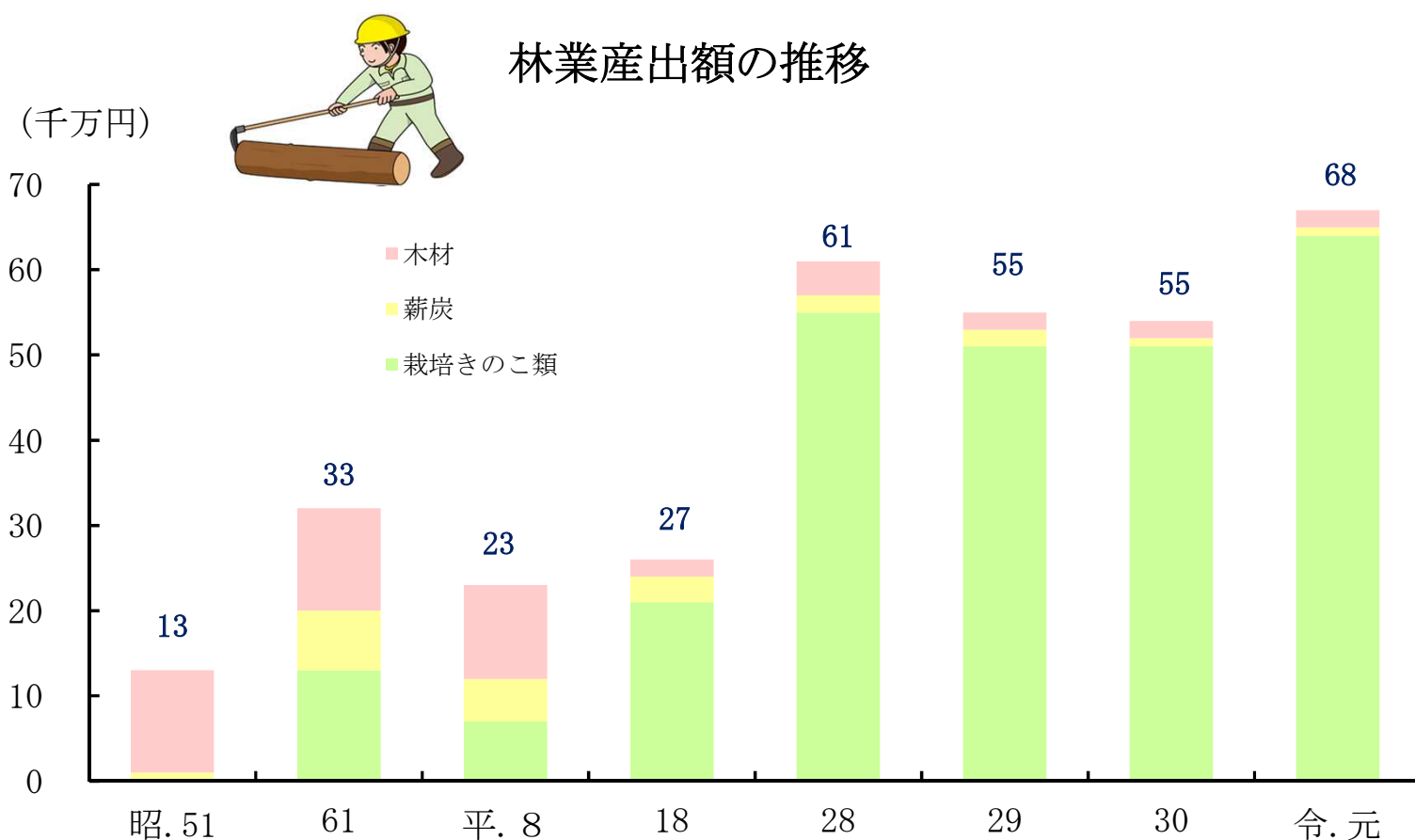
林野面積・林家数及び林業産出額

1 林野面積及び林家数 — 林野面積及び林家数ともに減少 —



資料：農林水産省大臣官房統計部『農林業センサス』
 注：林家とは、調査期日現在の保有山林面積が1ha以上ある世帯をいいます。

2 林業産出額 — 令和元年は6億8千万円で過去最高 —



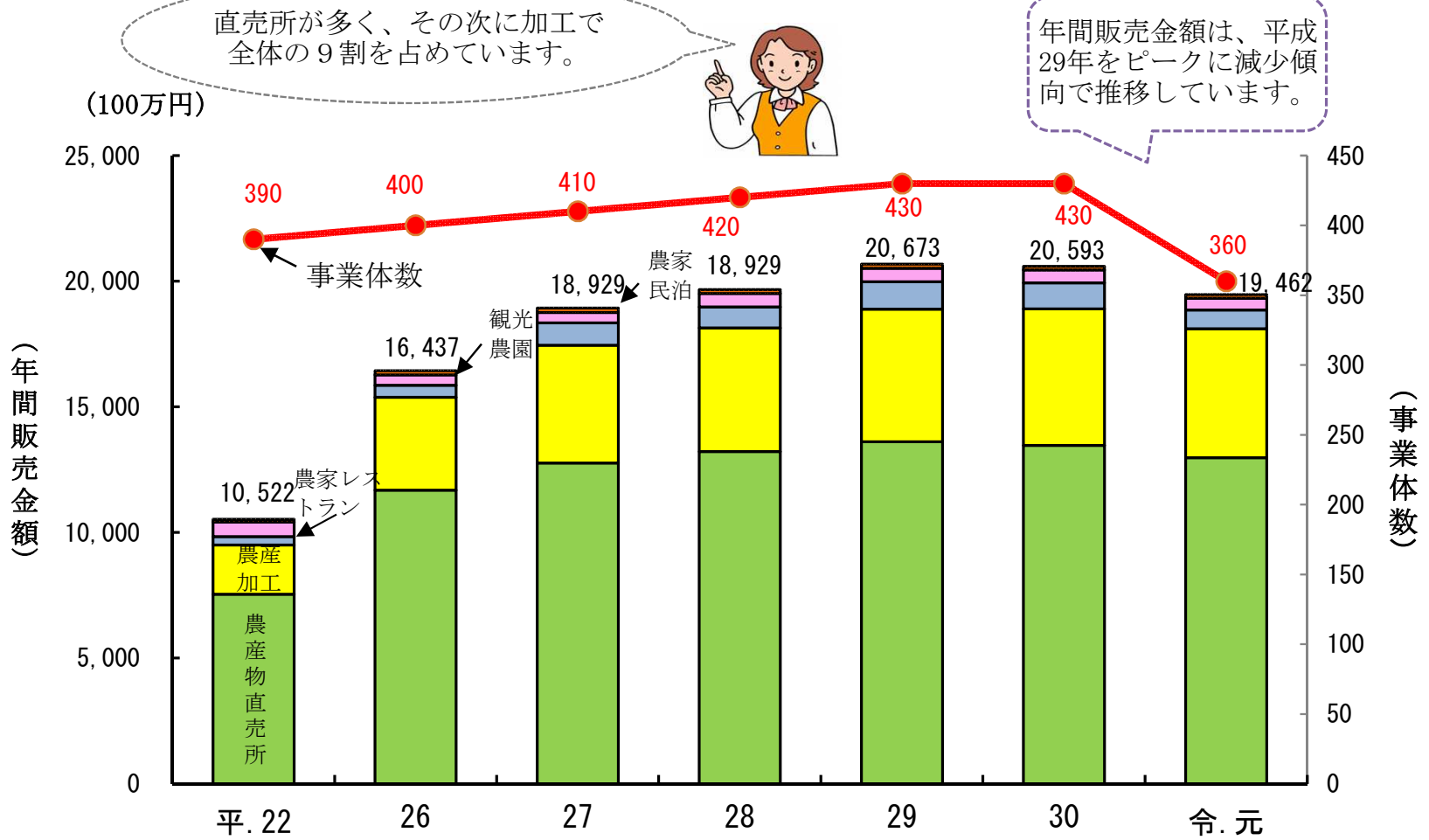
資料：農林水産省大臣官房統計部『林業産出額』

6次産業化の年間販売金額及び事業体数

1

— 年間販売金額は前年度に比べ約5%減少 —

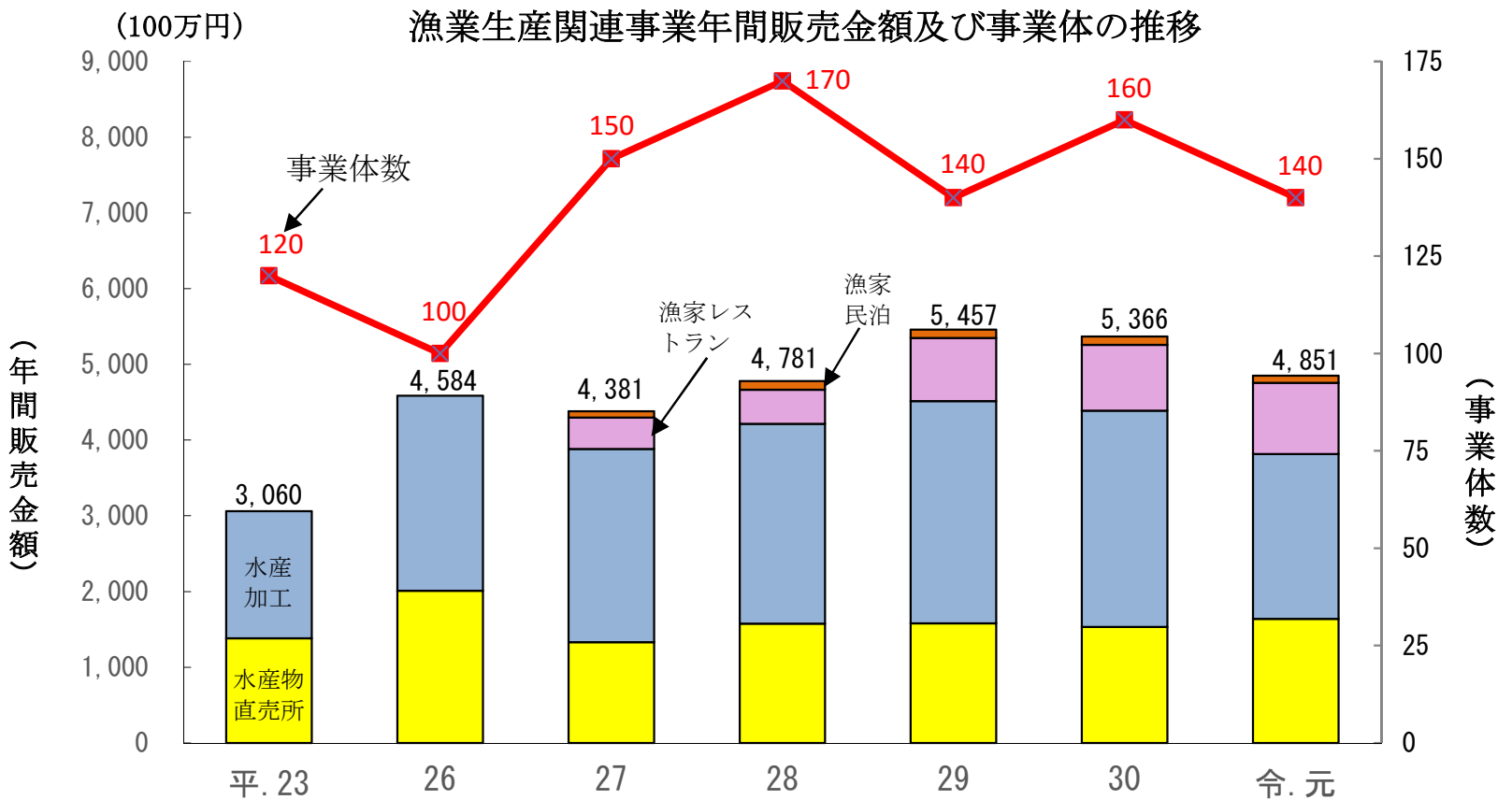
農業生産関連事業年間販売金額及び事業体の推移



2

— 年間販売金額前年度に比べ減少 —

漁業生産関連事業年間販売金額及び事業体の推移



※平成27年度調査から漁家民泊及び漁家レストランを追加。

資料：農林水産省大臣官房統計部『6次産業化総合調査』

統計の日の由来

『我が国における近代統計のはじまり』

明治政府は明治3年9月に各府県に対して管内の山川海陸の物産等の生産高をとらえる「府県物産表調査」を開始しましたが、これが我が国最初の近代的生産統計といえます。

この「府県物産表」を作成する太政官布告が公布された明治3年9月24日(太陰暦)を現在の太陽暦に換算した10月18日を「統計の日」として、統計の重要性に対する国民一般の関心と理解を深め、国や都道府県、市町村が実施する統計調査に対する国民のより一層の協力を推進することを目的として、昭和48年7月3日の閣議で定められました。

